

2013年度 卒業論文

# 脱原発に関する新聞報道と世論の比較 ～ドイツを例に～

慶應義塾大学 環境情報学部 環境情報学科

渡辺 展

学籍番号：71050084 ログイン名：t10008hw

指導教授：藁谷郁美教授

提出日 2014年1月20日

## 目次

1. 研究背景・目的	4
2. 先行研究・仮説	5
3. 研究手法	6
3.1 分析対象	6
3.1.1 南ドイツ新聞 電子版記事	6
3.1.2 南ドイツ新聞 電子版コメント欄	7
3.1.3 意識調査、インタビュー調査	8
3.2 分析手法	9
4. 本論	10
4.1 南ドイツ新聞(Süddeutsche Zeitung)電子版記事	10
4.1.1 記事1「1万人の脱原発デモ」	10
4.1.1.1 記事の内容	
4.1.1.2 解説	
4.1.2 記事2「忘却された残骸」	12
4.1.2.1 記事の内容	
4.1.2.2 解説	
4.1.3 記事3「日本は手を止め、犠牲者を思う」	15
4.1.3.1 記事の内容	
4.1.3.2 解説	
4.1.4 記事4「ドイツの原発解体、時間を有する」	17
4.1.4.1 記事の内容	
4.1.4.2 解説	
4.1.5 電子版記事のまとめ	20
4.2 南ドイツ新聞電子版コメント欄	23
4.3 意識調査 インタビュー	24
4.3.1 インタビュー結果	25
4.3.1.1 Sさんの回答	25
4.3.1.1.1 原子力エネルギーの是非 (Sさん)	
4.3.1.1.2 まとめ・考察 (Sさん)	
4.3.1.2 Aさんの回答	27
4.3.1.2.1 原子力エネルギーの是非 (Aさん)	
4.3.1.2.2 まとめ・考察 (Aさん)	

4.3.1.3 Bさんの回答.....	28
4.3.1.3.1 原子力エネルギーの是非 (Bさん)	
4.3.1.3.2 まとめ・考察 (Bさん)	
4.3.1.4 Cさんの回答.....	29
4.3.1.4.1 原子力エネルギーの是非 (Cさん)	
4.3.1.4.2 まとめ・考察 (Cさん)	
4.3.1.5 Dさんの回答.....	31
4.3.1.5.1 原子力エネルギーの是非 (Dさん)	
4.3.1.5.2 まとめ・考察 (Dさん)	
4.3.1.6 Eさんの回答.....	32
4.3.1.6.1 原子力エネルギーの是非 (Eさん)	
4.3.1.6.2 まとめ・考察 (Eさん)	
4.3.2 インタビュー結果のまとめ.....	33
5. 考察.....	36
5.1 電子版記事とコメント欄の比較、考察.....	36
5.2 電子版記事とインタビューの比較、考察.....	37
5.3 電子版記事・コメント欄・インタビューの比較、考察.....	38
6. 結論、今後の展望.....	39
7. 謝辞.....	40
8. 参考文献.....	40
付録	
【付録1】図表リスト.....	42
【付録2】インタビュー書き起こし.....	43

## 1. 研究背景・目的の目的

2011年3月11日14時46分18.1秒、日本の太平洋三陸沖を震源とした東北地方太平洋地震が発生した。地震の規模を示すマグニチュードはMw9.0で日本観測史上最大であるとともに、世界でも2009年以降で4番目に大きな超巨大地震であった。この地震が巨大な津波を引き起こし、東日本の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。さらに、その津波は福島にあった東京電力福島第一原子力発電所にも重度な被害を与え、放射性物質の放出をともなう史上稀にみる深刻な原子力発電所事故を招いた（以下「福島原発事故」と略す）。

この事故を受けてとりわけ早く行動を起こしたのはドイツである。福島原発事故発生の3日後にはメルケル首相は、1980年以前に運転開始した原子力発電所3基の運転を一時停止すると発表した。その後2011年5月30日にドイツ国内にあるすべての原子力発電所17基すべてを停止し、2020年までに脱原発することを決定した。

福島原発事故発生から1年後の2012年3月10, 11日付けのドイツの全国紙、南ドイツ新聞(Süddeutsche Zeitung)の紙媒体では「（日本は）何も学んでいない」<sup>1</sup>という見出しで、福島原発や日本国内にあるその他の原子力発電所に対する日本政府の対応を批判している。

また、記事内でも「日本では反原発デモ情報がメディアでは流れていなかったため、デモが発生していることを多くの日本人は知らない」<sup>2</sup>というように日本の現状を分析しており、「実は、日本の政治家は（東北地方では放射線被爆の可能性が高いから）東北地方に行きたがっていない」「当時、菅首相は都民を避難させることを考えていたという事実を日本人は知らない。」<sup>3</sup>というように日本はとても危険であるかのように日本の状況を報道していた。以上のように、ドイツでは一貫して脱原発の立場をクローズアップした報道が主流を成す。

筆者はこのように、ドイツのメディアは日本の福島原発事故を足がかりに、ドイツ国民を原子力発電所の設置・稼働反対の方向に促そうとしているのではないかと考えた。特に原発完全撤廃という方向を支持する傾向が強いドイツの新聞メディアにおける報道内容は人々の意識と完全に一致していないのではないかと考えた。

そこで本稿は、メディアに浮上する報道の方向性と実際の人々の意識の間に乖離があることを問題提起とするものである。具体的には、ドイツメディアの一例としてドイツの全国紙である南ドイツ新聞の電子版記事と、その電子版記事に設けられているコメント欄、そしてドイツ人学生を対象に行ったインタビューによる意識調査の3点を比較・分析を行い、それらの間にみられる乖離の有無の検証、またその乖離がどこからくるのかに着目して本研究を行った。

<sup>1</sup> 南ドイツ新聞(Süddeutsche Zeitung) 2012年3月10,11日

<sup>2</sup> 同上

<sup>3</sup> 同上

## 2. 先行研究・仮説

地震および原子力事故に関する国内メディア・外国メディアの報道について、これまでに様々な研究がなされている。

地震については、例えば、荏本・望月<sup>4</sup>は1995年の阪神・淡路大震災に関する新聞記事情報を時系列にデータ整理を行い、分析した。また浅田ら<sup>5</sup>や床井ら<sup>6</sup>は、同様に阪神・淡路大震災を対象として、時間的推移の変化と地域による報道特性の違いを分析している。

一方、原子力の事故についてもメディアによる報道の分析が行われている。例えば、土田ら<sup>7</sup>は原子力事故の報道を比較し、マスメディアの情報伝達のあり方を検討している。中島<sup>8</sup>は、原子力事故について全国紙4誌の報道を分析し、マスメディア間の相互作用とその原因の分析をしている。

また、日本で発生した地震や原子力事故に関して外国のメディアの報道の分析を行ったものもある。例えば、横内ら<sup>9</sup>は東日本大震災を対象に、米国・中国・英国・仏国の新聞報道に関して各紙の特徴を整理・比較している。

そして、原発に関する世論を分析した研究も行われている。例えば、大磯<sup>10</sup>は福島第一原子力発電所事故後の海外での原子力発電所に対する世論の動向を分析した。

以上のように、震災および原子力事故に関する国内メディア・外国メディアに報道の特性や世論を調査・分析したものは多数ある。しかし、本研究のように新聞社の電子版記事や電子版記事に設けられているコメント欄を分析の対象としているものは少ない。また、意識調査として世論調査の結果を用いられている研究は多いが、意識調査としてインタビューを行った研究も少ない。本研究のように新聞社の電子版記事、それに設けられたコメント欄を分析対象とし、さらに意識調査としてインタビューという手法を用いた本研究は非常に重要な意味をもつと考えた。

<sup>4</sup> 莳本孝久, 望月利男(1996) 阪神・淡路大震災に関する新聞記事情報の整理-震災の時系列的分析に向けて-, 地域安 全学会論文報告集, Vol. 6, pp. 293-298.

<sup>5</sup> 浅田賢一, 床井則友, 片谷教孝(1995) 阪神淡路大震災における新聞報道の時間的推移と地域比較, 地域安 全学会論文 報告集, Vol. 5, pp. 309-314.

<sup>6</sup> 床井則友, 浅田賢一, 片谷教孝(1996) 阪神淡路大震災における新聞報道の時間的推移と地域比較, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.26-27.

<sup>7</sup> 土田辰郎, 木村浩(2011) 原子力事故報道の比較にみるマスメディアの情報伝達のあり方の検討, 日本原子力学会和文論 文誌, Vol.10, No.2, pp.132-143.

<sup>8</sup> 中島達雄(2010) 原子力報道にみるマスメディア間の相互作用とその要因の分析, 社会技術研究論文集, Vol. 7, pp.110-119.

<sup>9</sup> 横内陳誠, 阿部佐智, 柴田偉斗子, 南出将志, 加藤浩徳(2012) 東日本大震災に関する海外四カ国の新聞報道の特性, 社会技術研究論文集, vol9, 1-29, May 2012

<sup>10</sup> 大磯眞一(2011) 福島第一発電所事故後の原子力発電に対する海外世論の動向, "INSSJournal", Vol.18, pp.310-316.

### 3. 分析対象と分析方法

#### 3.1 分析対象

分析対象は以下の三つである。

##### 1) メディア調査

- ・電子版記事
- ・電子版記事に設けられているコメント欄

##### 2) 意識調査

- ・インタビュー

#### 3.1.1 南ドイツ新聞電子版記事

メディアの一例として、本研究ではドイツの全国紙である南ドイツ新聞の電子版記事（<http://www.sueddeutsche.de/>）を研究対象とする。これは、分析対象として電子版記事を分析対象とした理由は、近年のインターネットに登場によりインターネット上の記事である電子版記事は多くの人々に活用されているメディアであるためである。また、もう一つの理由として本研究の研究対象とした南ドイツ新聞の電子版記事には、記事の下部に読者の意見が書き込むことができるコメント欄が設けられているためである。

具体的な記事の選定方法は、南ドイツ新聞の電子版記事のHPから「Fukushima」というワードで検索した。期間は、2012年3月9日～15日（東日本大震災発生から1年後の2012年3月11日を中心とした1週間）に発行されたものである。これらのワード、期間での条件で検索、ヒットした記事の中から、事実報道（インタビュー記事は除く）、コメントがあるものを分析対象とした。これは、期間を東日本大震災発生から1年後に設定することで、この震災や福島第一原子力発電所事故の事実はほぼ明らかになり議論すべきテーマも出きっているのではないかと考えたためである。また、発生から1年経過し比較的多く福島第一原子力発電所事故に関する記事があると考えたためである。

具体的には、以下の4つの記事の分析を行う

＜表1 分析対象；電子版記事＞

番号	日付	タイトル	掲載欄	コメント数
A1 <sup>11</sup>	2012年3月11日	「1万人の脱原発デモ」 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“	Politik	10
A2 <sup>12</sup>	2012年3月11日	「忘却された残骸」 „Vergessen Ruinen“	Politik	3
A3 <sup>13</sup>	2012年3月12日	「日本は手を止め、犠牲者を思う」 „Japan hält inne und gedenkt der Opfer“	Panorama	4
A4 <sup>14</sup>	2012年3月12日	「ドイツの原発解体、時間を有する」 „Rückbau deutscher AKW dauert länger“	Wirtschaft	108

### 3.1.2 南ドイツ新聞電子版コメント欄

世論を読み取るものとして、新聞記事に対して読者が書いたコメントの分析を行った。このコメント欄は紙媒体の新聞には設けられておらず電子版記事にのみ設けられている。日本ではまだ一般的ではないが、ドイツをはじめとする海外のメディアでは、記事の下に読者が自由に個々の意見を書くことができる「コメント欄」(図1参照)がある。この「コメント欄」では、読者が自由に個々の意見を書いており世論を読み取ることができる。

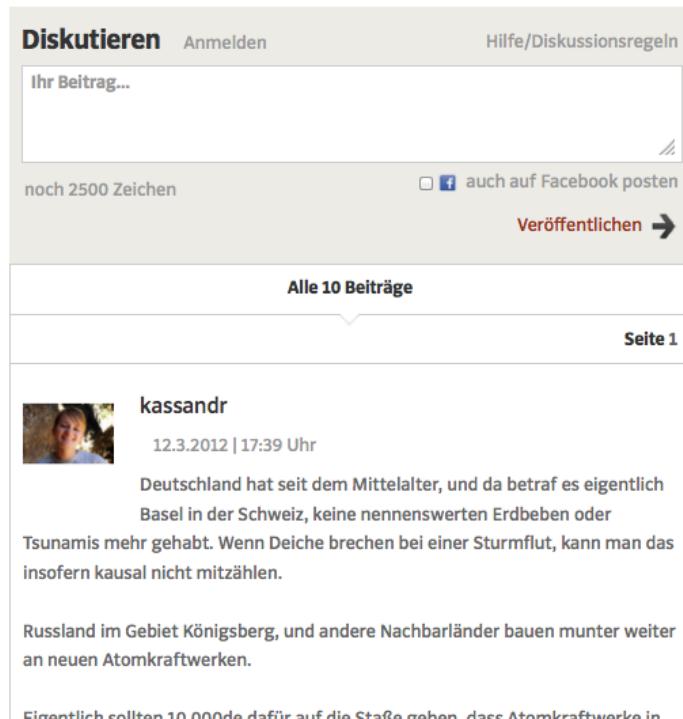
<sup>11</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347> (2014年1月19日閲覧)

<sup>12</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343> (2014年1月19日閲覧)

<sup>13</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Japan hält inne und gedenkt der Opfer“  
<http://www.sueddeutsche.de/panorama/jahrestag-der-katastrophe-japan-steht-still-1.1305631> (2014年1月19日閲覧)

<sup>14</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Rückbau deutscher AKW dauert länger“  
<http://www.sueddeutsche.de/wirtschaft/abrissplaene-fuer-deutsche-atomkraftwerke-verzoegern-sich-strahlendes-erbe-1.1306377> (2014年1月19日閲覧)

<図1 南ドイツ新聞電子版コメント欄>



Diskutieren Anmelden Hilfe/Diskussionsregeln

Ihr Beitrag...

noch 2500 Zeichen  auch auf Facebook posten

Veröffentlichen →

Alle 10 Beiträge Seite 1

 **kassandr** 12.3.2012 | 17:39 Uhr

Deutschland hat seit dem Mittelalter, und da betraf es eigentlich Basel in der Schweiz, keine nennenswerten Erdbeben oder Tsunamis mehr gehabt. Wenn Deiche brechen bei einer Sturmflut, kann man das insofern kausal nicht mitzählen.

Russland im Gebiet Königsberg, und andere Nachbarländer bauen munter weiter an neuen Atomkraftwerken.

Eigentlich sollten 10 000 da dafür auf die Straße gehen, dass Atomkraftwerke in

15

### 3.1.3 意識調査、インタビュー調査

さらに、意識調査としてドイツ人学生を対象としたインタビュー調査を行い、メディア媒体に見えてこない部分、即ち原発エネルギーに対する人々の意識を実際に調査し、メディアに浮上する方向性と実際の人々の意識の間にある乖離をより明確にすることが目的である。

5つの質問を核として相手の答えに応じて掘り下げていく形でインタビューを行った。また、1) 大学生であること、2) 日本学専攻あるいは日本語学習経験者であること、の2点に被験者の属性を絞り、実施した。また、メディア媒体と人々の意識との間にある乖離の部分に焦点をあてるため、インタビュー実施者である私と被験者との信頼関係が前提となつてはじめて成立すると考えた。従つて、既に2011年度から2012年度にかけてドイツのベルリン自由大学で構築した人的ネットワークを、今回の被験者の対象とした。そして、被験者を日本語専攻あるいは日本語学習経験者とすることで、日本についての関心が高く、日本で発生した福島第一原子力発電所事故についての知識を持っているだろうと考えた。

<sup>15</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347> (2014年1月19日閲覧)

メディア媒体では抽出が困難であると思われる原子力発電に対する人々の意識を導き出す事ができれば、メディア媒体との乖離が何を意味するのか、その背景を探求することへつながるものと考え、この意識調査を実施した。

以上をふまえ 2013 年 9 月 2 日～7 日の 6 日間、ドイツのベルリン自由大学でインタビューを行った。被験者は以下（表 2）の 6 名である。いずれも、ベルリン自由大学の学生で半年以上の日本語学習経験がある。

＜表 2 被験者の属性一覧＞

番号	性別	大学、専攻	日本語学習歴
1S	女	ベルリン自由大学 韓国学	6ヶ月
2A	女	ベルリン自由大学 日本学	2年
3B	女	ベルリン自由大学 日本学	3年
4C	女	ベルリン自由大学 日本学	3年
5D	女	ベルリン自由大学 日本学	5年
6E	女	ベルリン自由大学 日本学	3年

### 3.2 分析方法

これら 3 つの対象を分析を行い、原子力エネルギーからの電力生産への是非を中心にその理由、背景などから分析を行う。

## 4. 本論

本項目では、南ドイツ新聞電子版記事、南ドイツ新聞電子版記事に設けられているコメント欄、意識調査として実施したインタビューの結果を記す。

### 4.1 南ドイツ新聞電子版記事

ここで再度、<表1分析対象；電子版記事>を再掲載する。本研究では表1のように4つの記事を分析対象とした。

<表1分析対象；電子版記事>（再掲載）

番号	日付	タイトル	掲載欄	コメント数
A1 <sup>16</sup>	2012年3月11日	「1万人の脱原発デモ」 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“	Politik	10
A2 <sup>17</sup>	2012年3月11日	「忘却された残骸」 „Vergessen Ruinen“	Politik	3
A3 <sup>18</sup>	2012年3月12日	「日本は手を止め、犠牲者を思う」 „Japan hält inne und gedenkt der Opfer“	Panorama	4
A4 <sup>19</sup>	2012年3月12日	「ドイツの原発解体、時間是有する」 „Rückbau deutscher AKW dauert länger“	Wirtschaft	108

#### 4.1.1 「1万人の脱原発デモ」 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“

##### 4.1.1.1 記事の内容

<sup>16</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347> (2014年1月19日閲覧)

<sup>17</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343> (2014年1月19日閲覧)

<sup>18</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Japan hält inne und gedenkt der Opfer“  
<http://www.sueddeutsche.de/panorama/jahrestag-der-katastrophe-japan-steht-still-1.1305631> (2014年1月19日閲覧)

<sup>19</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Rückbau deutscher AKW dauert länger“  
<http://www.sueddeutsche.de/wirtschaft/abrissplaene-fuer-deutsche-atomkraftwerke-verzoegern-sich-stahlendes-erbe-1.1306377> (2014年1月19日閲覧)

## 大見出し：1万人の脱原発デモ

小見出し：日本での震災から1年、ドイツでは原発反対派が道へ繰り出している。特に、ドイツの原子炉の近くや放射性廃棄物処理場の周りでデモが発生している。主催者は約5万人、警察はそれより低い人数参加したとしている。

本文：福島第一原発事故から1年が経過し、ドイツでは大規模な反原発デモが行われた。脱原発デモ参加者たちは、①急速なエネルギー転換、②放射性廃棄物取り扱い方法の新方針、の2点を求めている。

主催者は5万人が参加したと公表した。ニーダーザクセン州(niedersächsischen Region)の放射性廃棄物周辺に75キロメートルにわたり脱原発デモが列を作り、コンラード鉱山(Schacht Koonrad)では2万4千人がデモに参加した。地方の市民運動やAttac、der BUND、Robin Woodなどの環境保護団体の下、ドイツ全土でデモが発生している。これらのデモの主催者は、ドイツ連邦政府に対して「福島第一原発事故からやっと（脱原発という）当然の結果に達した」というシグナルを発信している。「生半可でかなり遅い脱原発」はすばやくそしてエネルギー変換を精力的に促進されなければならない。大半の国民はすばやい脱原発を求めている。

また、ハノーファー市(Hannover)、またバイエルン(Bayern)州のグンドレミンゲン(Gundremmingen)、バーデン=ヴェルテンベルク(baden-württembergischen)州のネッカーヴェイストハイム(Neckarwestheim)州の原子力発電所の周辺で脱原発デモがあった。警察は、様々な場所でデモ参加者を少なく見積もっている。シュレースヴィッヒ=ホルシュタイン州(schleswig-holsteinischen)のブロクドルフ(Brokdorf)原子力発電所付近では4キロメートルにわたりデモ参加者が列をつくった。「我々はドイツだけではなく、世界中の最後の1つの原子力発電所が閉鎖されるまでデモを行う。放射線には国境はない」と、デモに参加した緑の党党首クラウディア・ロート(Claudia Roth)は話している。

主催者は、3000人以上が参加したと発表している。警察は2300人と公表している。原発発電所内で錆び付いた放射性廃棄物が入った樽を発見した。そして、ロートは「放射性廃棄物が入った錆び付いた樽は決して安全ではない」とも話している。

バイエルン(Bayern)州のグンドレミンゲン(Gundremmingen)にある原子力発電所でも、デモ参加者たちは、即座の脱原発を要求した。デモ主催者の報告によると5500人が参加、警察は3000人が参加したと公表している。バーデン=ヴェルテンベルク(baden-württembergischen)州のネッカーヴェイストハイム(Neckarwestheim)州のデモでは、福島第一原発事故を引き起こした地震や津波の災害の被害者に対して沈黙の行進を行った。

黒いテープが道路の端でなびいた。主催者は5000人、警察は1000人と公表。ミュンス

ターのグロウナウ (münsterländischen Gronau) のデモ行進では、ドイツの唯一のウラン工場での処理の終了を要求した。警察の見積もりは 2000 人、環境保護団体 BUND は 4000 人以上と公表している。

#### 4.1.1.2 解説

この記事では、ドイツ国内の反原発デモの実施情報が報道されている。

1 つの記事でドイツ各地の反原発デモについて報じているため、実際に発生した脱原発デモの情報を報じると共に、ドイツでは脱原発の考え方が当たり前だよ、というようにドイツ人に反原発デモへの参加を促そうとしているのではないかと筆者は考えた。また、「生半可でかなり遅い脱原発 “はすばやくそしてエネルギー変換を精力的に促進されなければならない。大半の国民ははすばやい脱原発を求めてる。<sup>20</sup>」とも述べており、読者に“原発に反対すべき”という強いメッセージを送っていることが感じられる。

脱原発を主張する理由として、原子炉 (Atommeilern) や放射性廃棄物 (Atommüll) を上げている。また、脱原発デモ隊は、①急速なエネルギー転換、②放射性廃棄物取り扱い方法の新方針を求めているようである

また、記事の主張がそうであることから、記事内の引用文もすべて脱原発派の主張である。

#### 4.1.2 「忘却された残骸」 “Vergessene Ruinen”

##### 4.1.2.1 記事の内容

大見出し：忘却された残骸

小見出し：超最大級の事故に続きはないのか。福島の原子力事故後、原子力技術制御に関する信頼は崩壊した。しかし、福島第一原発事故から 1 年が経過し、中国やインドのような国々は原子力エネルギーを使用することが明らかになった。日本政府でさえも原子炉を再び稼働するつもりである。

本文：水平線にぼやける灰色の空に、コンクリートでできた原子炉ドームがそびえ立つ。巨大なクレーンを使って、空中で緑青の作業ズボンと鮮やかな安全作業服を来た作業員が鉄をくみ上げる。4 年前、ここはまだ緑の草原であった。現在、韓国では新古里第三・四原子力発電所が建設されており、既に 90 パーセント以上が完成している。

---

<sup>20</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347> (2014 年 1 月 19 日閲覧)

ここ古里は、1978年に韓国で最初の原子力発電所である古里第一原子力発電所が建設された韓国原子力産業の発祥地である。栄光ある未来(glorreichen Zukunft)を期待して、KHNP (Korea Hydro & Nuclear Power)社がそこに建設した。それについて、リー(Lee Jae-Won)は韓国国営企業のために韓国の誇示するプロジェクトとして監視するように説得した。7基の原子力発電所の建設は2020年に完了する予定である。韓国最初の原子力エネルギーによって生産された電力の輸出はアラブ首長国連邦である。それは、原子力大国であるフランスを打ち負かすかのような原子力管理の威信の高さをしめた。

北東に直線距離で1100キロメートルの地点で、防護服を来た作業員は放射線が漏れている状態のなか、福島の残骸と戦っていた。チェルノブイリの原発事故の後の片付けには30、40年かかったにもかかわらず、新古里原発でもし事故が起きた場合は事故後1年で片付けが終わると予想されている。

リーさんは「はい、今韓国で稼働している21基の原発はチェックされて、17個の安全上重要な修正があった」と言った。しかし、福島で発生したよう事態が新古里では起こらないだろう。「ありえない！」。韓国にある1400メガワットの原発の冷却装置は日本より安全で、韓国では今まで日本発生したような大震がなかった。その上大きな津波も絶対に起こらない。

技術に対する信頼や明瞭な楽天主義がはっきりと現れている。福島での原発事故は、原子力エネルギーの転換のために世界中で観察されているわけではない。64基の原子炉は、国際原子力機関によれば2011年12月31日の時点で中国では26基、ロシアでは10基、インドでは6基、韓国では5基が建設中であった。「エネルギー転換へのドイツの対応は国際的に有名であり、驚きである」とIAEAの部長として世界中の原子力発電所をチェックしているHans-Holger Rognerは話している。

ドイツの省庁は、2030年の原子力エネルギー状況について2つの予測を発表した。福島の事故の後、原子力エネルギーの割合は7~8パーセント減少した。しかし、予定されていた昔の計画では、出力は現在の367ギガワットから501ギガワットに上昇する。運転している原子炉の数値は、現在の435ギガワットから90ギガワット増加して535ギガワットである。予測では350個のエンジンブロック付け加えらる。

世界原子力協会や世界エネルギー機関のようなその他のほとんどの予測では同様な結論である。しかし、どちらも現状維持または減少を予測している。その原因是、原発建設のための政治的 requirement がひどくなっているためである。工業国はすでに建設中の原子炉を仕上げ、中進国は既に予定されている原子炉の半分は完成している。

既出のIAEAのRognerは、「今後特に新興国で増加するであろうエネルギー需要、エネルギー安全保障、不安定な化石燃料の値段、そして気候変動」に対しての興味は、福島の事

故を通して何も変化しないということを否定している。そのうえ、もし技術立国日本が安全基準を守って、業界や国による団体のではなく有効な原発監視を行っていれば、事故は回避できたのではないかというように日本を世界的に擁護するする意見が強まっている。

つまり、ヨーロッパの原子炉とは異なる。福島には壊滅的な水素爆発を阻止するための修理機材はない。津波対策の十分ではない。(東京電力はそのことを把握しているが) 東京電力は必要な投資をしていない。

事態は、予想以上に複雑である。中国政府は新しい原発の建設を棚上げしている(建設を中止したわけではない)。中国はすべての土地の地震発生率や洪水のリスクを検査させ、輸入された型を通して、安全上の理由から自ずと発展した原子炉を交換することを検討している。中国では原子力発電所の建設が優先事項ではなくエネルギー需要をまかなうことである。原子力の割合は、2020年までに80基の新しい原子力発電所が出来上がることにより、今日の2パーセント以下から5パーセントまで増加する。

日本では、全54基の原発のうち52基は稼働を停止している。福島第一原発事故により4基は壊れ、他の6基はその場で稼働を停止している。同様に東海岸の7基もある。しかし、当時公式検査のために稼働を停止していた35基は、いつ再稼働するかどうか不透明である。フランスでは電力生産の原子力エネルギーの割合を減らすことを検討している。

加えて、特に西側諸国において新しい原子炉建設ための10億円の投資はもはや行われない。チェコではテメリン原子力発電所事故の解体が検討されている。また、既に原子力産業がある新興国が増えている。シェールガス埋蔵のガス製造工場の開発は、再び魅力的になってきている。更に、福島の災害の後、世界中で原子力エネルギーに対する支持が減少している。原子力エネルギーが韓国に浸透している。リーは話していないが。

#### 4.1.2.2 解説

この記事では、福島第一原発事故発生から1年が経過した、ドイツだけではなく日本、韓国、チェコ、中進国、産業国の原子力産業の現状を報じている。特に、福島第一原発事故という史上最大級の原発事故が発生したにも関わらず、原発を稼働させようとしている韓国の原子力産業についてのことが大部分を占める。この記事も脱原発に賛成の立場で記事が書かれている。

原子力発電所を引き続き稼働しようとしている韓国の現状、そして韓国の原発は安全だとするコメントを引用している。また、「チェルノブイリの原発事故の後の片付けには30、40年かかったにもかかわらず、新古里原発でもし事故が起きた場合は事故後1年で片付け

が終わると予想されている。」<sup>21</sup>などと具体的な意見を述べ、様々な点から原発を推進している韓国を批判し、さらに韓国のこと「「樂天主義」<sup>22</sup>と揶揄している。

それに加え、1987年に古里で韓国初の原子力発電所を建設する際に、「栄光ある未来 (an der glorreichen Zukunft) を期待して」と “glorreiche” という単語を用いている。これは、「(皮肉で) 栄光ある<sup>23</sup>」という意味である。同様に、「韓国の誇示するプロジェクト」<sup>24</sup>というように “Prestige” という「誇示する」という意味であり、「名声をひけらかす」というように悪い意味で用いられる<sup>25</sup>。これらは、記者が韓国の原子力産業の取り組みに対して、皮肉的な意味を込めて報道していることを感じ取ることができる。

また、東京電力に対しても「(東京電力はそのことを把握しているが) 東京電力は必要な投資をしていない。<sup>26</sup>」と報道しており、東京電力の安全対策の不十分さを皮肉の気持ちを込めながら批判していると読み取ることができる。

そして、自国ドイツに関して「エネルギー転換へのドイツの対応は国際的に有名であり、驚きである」と述べ、自国を賞賛している。

さらに最後には「更に、福島の災害の後、世界中で原子力エネルギーに対する支持が減少している。」<sup>27</sup>と記し、読者に原発に反対すべきというメッセージを送っている。

#### 4.1.3 「日本は手を止め、犠牲者を思う」 “Japan hält inne und gedenkt der Opfer”

##### 4.1.3.1 記事の内容

大見出し：日本は手を止め、犠牲者を思う。

小見出し：14時46分、平穏な生活が流れていた。1年前のその時間、土地は揺れ、陸が変動した。日本人は、地震・津波・原発事故の犠牲者のに対し黙祷を行い、思い出した。

本文：2011年3月11日、福島の原子力発電所はマグニチュード9という大きな地震によって引き起こされた津波の被害を受けた。その結果、原発の冷却装置が急停止した。これ

<sup>21</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“

<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343>  
(2014年1月19日閲覧)

<sup>22</sup> 同上

<sup>23</sup> アクセス独和辞典 三修社

<sup>24</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“

<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343>  
(2014年1月19日閲覧)

<sup>25</sup> 研究社新英和中辞典 <http://ejje.weblio.jp/content/prestige> (2014年1月19日閲覧)

<sup>26</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“

<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343>  
(2014年1月19日閲覧)

<sup>27</sup> 同上

は切尔ノブイリ以降、最悪な原発事故であった。発電所周辺 20 キロメートルは立ち入り禁止区域に設定され、1 万人が避難しなければならなかつた。世紀の津波により 15800 人の人々が亡くなつた。

東京の新国立劇場での記念式典では、首相の野田佳彦が犠牲者を追悼した。「全力で被災地域の復興に努める」と演説した。

その記念式典には 1200 人が姿を現した。黙祷の前には、国歌齊唱。犠牲者追悼のために、白い菊やユリが飾られた柱が舞台の上に飾られている。式典では、明仁天皇陛下と、皇后美智子も天皇人族と共に参列した。78 歳の天皇は、今後の子孫たちに向けて被災の教訓を伝え、「忘れてはなりません」と発言した。また、明仁天皇陛下は、同時に福島の破損した原発の修理を行つた人々にお礼を述べた。天皇夫婦は過去に自ら、被災地を訪問し被災者を励ましていた。

いまだ、1 万人の被災者は仮設住宅で暮らしている。この自然災害の結果として、福島の 3 つの原子炉がメルトダウンに陥つて広範囲において汚染されている。

東日本大震災発生から 1 年が経過して 2012 年 3 月 11 日には、東京や大阪で原発廃止に向け、デモ行進が行われた。約 50 人のデモ参加者たちは、東京電力本社前に集まつた。そして、立ち入り禁止区域で生活していた人々に対する損害賠償の東京電力の処置に対して批判した。「我々は、少額の損害賠償の支払いの要求は受け入れられない」とデモ主催者は話した。しかし、日本では、このような反原発デモ参加者は福島での災害があつたにも関わらずわりと少ない。

#### 4.1.3.2 解説

この新聞記事では、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から 1 年が経過し日本での追悼式典や日本の現状について報道している。大部分はこの大災害と式典の模様を報じている。

他の記事と比べて記者の意見が反映されている文は少なかつた。しかし、最後に「日本ではこのような反原発デモ参加者は、福島での災害があつたにも関わらずわりと少ない」<sup>28</sup> と述べ、多くの日本人が脱原発デモに参加しないことに対して疑問を呈している。これは、もっと日本人もドイツ人のように大規模に脱原発デモを行い日本政府や東京電力に脱原発を訴えるべきではないかといいたいのではと考え、脱原発デモは当然のように起こるべきものであると報じている。

---

<sup>28</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Japan hält inne und gedenkt der Opfer“  
<http://www.sueddeutsche.de/panorama/jahrestag-der-katastrophe-japan-steht-still-1.1305631> (2014 年 1 月 19 日閲覧)

#### 4.1.4 「ドイツの原発解体、時間を有する」 „Rückbau deutscher AKW dauert länger“

##### 4.1.4.1 記事の内容

大見出し：ドイツの原発解体、時間を有する

小見出し：原発解体、ドイツ史上莫大の費用がかかり、最も大掛かりな原子力発電所の解体計画となる。しかし原発業界は最悪の場合 45 年後全原発が解体されるとして、原発解体の遅れについて警笛を鳴らしている。特に、放射性廃棄物をどこに持っていくのかが問題視されている。

本文：原発をどのように解体するのかを知ってる人は、バルト海に面しているルブミン (Lubmin) へ行くべきである。海辺の側には、怪物のようなながれきの山がそびえ立っている。1995 年、ここで最終的に東ドイツの原発の操業を停止した。17 年間、パイプや原子炉は除染さ続けている。どっしりしたコンクリートの建物はまだそこにある。ルブミン (Lubmin) は、翌年、耐えなければならない町の例である。

脱原発をするということは、つまり国際原発公園の完全撤去を意味する。『緑の草原復活 (Rückbau bis auf die grüne Wiese)』というこの計画の中身は、そのまま名前の通りである。1 つの原子力発電所につき 50 万個の鉄とコンクリートのドラム缶を 17 回分解して処理しなければならない。それは、ドイツ史上莫大の費用がかかり、最も大掛かりな原子力発電所取り壊し計画になる。約 300 億円だと見積もられている。

可能な限り早く、放射線はなくすべきである。原子力発電所の権限を持つ州政府は、ドイツの至るところで、Eon, RWE, Vattenfall, EnBW のような電力会社に、原発の解体を要求している。福島の事故直後に操業を停止した原発は、解体に 10 年かかるとドイツ原子力フォーラム (Deutsche Atomforum) の社長ラルフ (Ralf Güldner) は述べている。例えば、ニーダーザクセン (Niedersachsen) 州のウンターバッサー (Unterwasser, 町名) では「2015 年に原子力発電所に使用済み核燃料がなくなり解体を始められれば、2025 年には終わらせられる。」と話している。うまくいけばだが。

しかし、福島の事故から 1 年が経過し解体計画はほとんど進んでいない。原子力を運営している Eon, RWE, Vattenfall, EnBW の本社では、いまだにどのように操業を停止している原発を解体するのかがはっきりしていない。特に、放射性廃棄物をどこに持っていくのか、という問題である。

解体した残物の大部分は、ザルツギッター (Salzgitter, 町名) にある最終貯蔵場に運ばれる。原鉱採掘場であるコンラッド (Konrad) 鉱山は、現在、放射性廃棄物のための長期的なゴミ処分場の建て直しが行われている。問題はコンラッド (Konrad) での放射性廃棄物処理場の建て直しがまだまだ終わりそうもないことである。その代わりに、予定通りに 2015 年、または遅くとも 4 年後には終わる予定である。そして、それはまだ未定である。専門家は

2022 年にもまだ原発の操業停止を果たすことはできないだろうと述べている。それに伴ってそこにはドイツの放射性廃棄物が貯まっていく。1 つの原発につき約 100 個のドラム缶の放射性廃棄物は、いまだに高い放射線を発している。ゴルレーベン(Gorleben, 町名)のようなふさわしい廃棄場で処分されなければならない。汚染されている推定 5000 個のドラム缶の物質はコンラッド(Konrad)から運び出されるだろう。

それに伴って、原子力業界によるとひどい問題が生じている。「政治は我々に、速やかな原発の解体を期待している。それは風景に“放射線の破滅(strahlende Ruine)”を残すという意味ではない。」とドイツ原子力フォーラムの社長であり、ドイツの大きなエネルギー会社でもある Eon の原子力部門の主任であるラルフは述べている。「しかし、そのためにコンラッド(Konrad)貯蔵場の稼働と受け入れ準備が必要である。本当は、コンラッド(Konrad)は 2015 年に準備ができるはずである。しかし、今のところ 2019 年以前に整わないとしている」とラルフは話し、重大な問題だと警笛を鳴らしている。「それは解体の遅延を促進させると話している。」

RWE も政治のより深く関与するよう求めている。貯蔵場は原発の解体のためにとても重要である、と女性アナウンサーは言う。残念ながら、過去の日程表は常に延期されてきた。「その貯蔵場は、期日までには終わらなければならない。コンラッド(Konrad)は解体の最大の問題ある。」いくつかの企業は速やかな解体を疑問視している。原子力業界は、初めのスクランプの前の原子炉の輸送について調査している。業界用語で「廃炉(sicherer Einschluss)」という。RWE によると双方ともに可能であるようだ。来週にはその決断が下されるであろう。

それに伴って、政治と原子力経済の間の闘いが迫る。原子炉は、ただ単に解体することは違い 15 年かけても廃炉にはならない。原子炉はまず封鎖され、その後に取り壊される。まず 40~45 年かけてコンクリートのがれきの山を取り除く。しかし、原子力発電所のある場所はそんなに長い時間待ちきれない。それに加え、全く新しい問題がある。専門家はどこから原発解体作業員を補充するのかという問題を指摘している。現在仕事を引き継ぐことができた原子力発電所の作業員は、時間が経つにつれていなくなってしまうかもしれない。

ドイツ省庁は、原子力業界の批判に対し怒りをあらわにしている。当社の問い合わせに対し、コンラッド(Konrad)鉱山採掘場の完成の延期と解体の延期の間の関連性は「わからない」と放射性廃棄物の廃棄物処理に対する権限を持っており、ザルツギッター(Salzgitter, 町名)にある連邦放射線防護庁(BfS: Bundesamt für Strahlenschutz)は回答した。確かに実際、コンラッド(Konrad)の 2019 年以前の運営開始は不可能である。しかし、原子力発電所に「燃料」がない時、いずれにせよ解体と解体に伴いコンラッドに大量ある廃棄物の発生が始まる。しかし、高い放射能を有する可燃成分は原子炉または使用済み核

燃料プールに 5 年間収納しなければならない。2016 年より以前に解体は全く始まらない。

政治において以前から全く異なる心配事があった。原子力業界はコストを削減するため解体を遅らせていると、ベルリンの連立政権筋は話している。そのため、多くの企業は燃料輸送用コンテナの注文のタイミングを逃してしまった。所要時間の延長は計画していた。速やかな解体は、原子力業界にとって都合が悪い。そのため、可燃物質の搬出のためにキャスターの注文の際に問題がある。「このような延期に対して、電力会社が自ら責任を取るべきである。」とベルリンでは言われている。

#### 4.1.4.2 解説

この記事では、ドイツの原子力発電所の解体がなかなか進まないことについて報じている記事である。

まず、解体が延期している大きな理由として「放射性廃棄物をどこに持っていくか」<sup>29</sup>という問題をあげている。ここで、注目点は「放射性廃棄物をどのように“処理をするべきか”ではなく、「放射性廃棄物を“どこ”に持っていくか」<sup>30</sup>をこの問題の焦点としている点である。これは、もともとドイツ国内での放射性廃棄物処理場予定地は決定していたが、原発解体延期に伴って今既にある放射性廃棄物処理場がまだないという問題が発生しているということである。

また、もう 4 つの問題が上げられている。1 つ目は原発解体作業員についてである。従来計画通りに解体が行われていれば問題はなかったが、解体の延期により当初予定していた作業員がいなくなってしまうということである。2 つ目は、放射性廃棄物を搬送するためのキャスターの問題である。解体の延長により、輸送の際のキャスターの注文に大きく影響してくると述べている。3 つ目は、「原子力を運営している Eon, RWE, Vattenfall, EnBW の本社では、いまだにどのように操業を停止している原発を解体するのかがはっきりしていない。」<sup>31</sup>点。4 点目は「問題はコンラッド(Konrad)での放射性廃棄物処理場の建て直しがまだまだ終わりそうもないことである。」<sup>32</sup>という点である。

さらに、「可能な限り早く放射線はなくすべきである、うまくいけば 2025 年には廃炉を達成することができる」<sup>33</sup>と述べた後に「うまくいいけばだが」<sup>34</sup>と皮肉を言っている。こ

---

<sup>29</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Rückbau deutscher AKW dauert länger“  
<http://www.sueddeutsche.de/wirtschaft/abrissplaene-fuer-deutsche-atomkraftwerke-verzoegern-sich-strahlendes-erbe-1.1306377> (2014 年 1 月 19 日閲覧)

<sup>30</sup> 同上

<sup>31</sup> 同上

<sup>32</sup> 同上

<sup>33</sup> 同上

<sup>34</sup> 同上

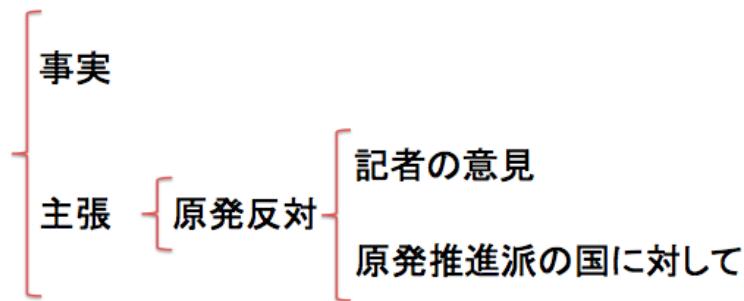
れは、新聞会社または記者がこのように解体が大幅に遅れていることに対して落胆していると考えられる。

そして最後には、「“このような延期に対して、電力会社が自ら責任を追うべきである”とベルリンでは言われている」<sup>35</sup>と報じており、この原子力発電所解体の延期に責任は電力会社にあるとの見方をしている。

#### 4.1.5 全体のまとめ

本研究で分析対象とした 4 つの記事は全て脱原発派の立場で書かれていた。記事内の引用文も全て脱原発派からのコメントやインタビューの内容であった。二酸化炭素排出量が少ない、発電効率が良い等のような原子力エネルギーの使用による電力発電に関してメリットなどは記載されていなかった。完全に脱原発に賛成の立場である。

また、電子版記事の内容の分析結果を以下のようにカテゴライズした。



【事実】というのは、それぞれの記事に関して事実を記述しているということである。具体的な内容に関しては、前項の“記事の内容”を参考して頂きたい。

また、【主張】というのは、記事を読むと、新聞社または記者の主観的な意見のことである。主観的な意見というのは、脱原発に賛成（原発に反対）という意見である。具体的には以下である。

- ・ 「生半可でかなり遅い脱原発」はすばやくそしてエネルギー変換を精力的に促進されなければならない。」<sup>36</sup>
- ・ 「大半の国民はすばやい脱原発を求めている。」<sup>37</sup>

<sup>35</sup> 同上

<sup>36</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“ <http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347> (2014年1月19日閲覧)

<sup>37</sup> 同上

- ・「更に、福島の災害の後、世界中で原子力エネルギーに対する支持が減少している。」<sup>38</sup>
- ・「可能な限り早く、放射線はなくすべきである。」<sup>39</sup>

いずれも、脱原発派の意見であることがわかる。そして、「大半の国民はすばやい脱原発を求めている。」<sup>40</sup>、「更に、福島の災害の後、世界中で原子力エネルギーに対する支持が減少している。」<sup>41</sup>は、どのような根拠があってこのようなことを記載しているのかは不明であり、南ドイツ新聞社、または記者の意見が反映されているものであろう。

さらにこの【主張】として、記事内で皮肉を込めた文章で脱原発を訴えている。というのは、原子力発電所を稼働させようとしている原発推進派の国に対して皮肉の気持ち込めて記述しているのである。

具体的には、以下の皮肉の気持ちを含んだ記述を見つけることができた。

## 記事 A2

- ・韓国に対して「チェルノブイリの原発事故の後の片付けには 30、40 年かかったにもかかわらず、新古里原発でもし事故が起きた場合は事故後 1 年で片付けが終わると予想されている。」<sup>42</sup>
- ・原発を推進しようとしている韓国を「楽天主義」<sup>43</sup>と揶揄。
- ・1987 年に古里で韓国初の原子力発電所を建設する際に、「栄光ある未来 (an der glorreichen Zukunft) を期待して」と “glorreiche” という単語を用いている。これは、「(皮肉で) 栄光ある<sup>44</sup>」という意味である。
- ・「韓国の誇示するプロジェクト」<sup>45</sup>というように “Prestige” という「誇示する」

<sup>38</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“

<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343>  
(2014 年 1 月 19 日閲覧)

<sup>39</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Rückbau deutscher AKW dauert länger“

<http://www.sueddeutsche.de/wirtschaft/abrissplaene-fuer-deutsche-atomkraftwerke-verzoegern-sich-strahlendes-erbe-1.1306377>  
(2014 年 1 月 19 日閲覧)

<sup>40</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft“

<http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347>  
(2014 年 1 月 19 日閲覧)

<sup>41</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“

<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343>  
(2014 年 1 月 19 日閲覧)

<sup>42</sup> 同上

<sup>43</sup>同上

<sup>44</sup>アクセス独和辞典 三修社

<sup>45</sup>南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“

<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343>  
(2014 年 1 月 19 日閲覧)

という意味であり、「名声をひけらかす」というように悪い意味で用いられる<sup>46</sup>。

・東京電力に対しても「(東京電力はそのことを把握しているが) 東京電力は必要な投資をしていない。<sup>47</sup>」と報道しており、東京電力の安全対策の不十分さを皮肉の気持ちを込めながら批判していると考えられる。

### 記事 A3

・「日本では、このような反原発デモ参加者は福島での災害があったにも関わらずわりと少ない。」とこの「少ない」というのは、どこの国も脱原発デモと比べて「少ない」のだろうか。おそらく、ドイツである。私はここにも新聞社、または記者の意見が現れていると思う。というのは、「もっと日本人も原発に反対すべきだ」という意見である。

### 記事 A4

・「可能な限り早く放射線はなくすべきである、うまくいけば 2025 年には廃炉を達成することができる」<sup>48</sup>と述べた後に「うまくいいければだが」<sup>49</sup>と皮肉を言っている。これは、新聞会社または記者がこのように解体が大幅に遅れていることに対して落胆していると考えられる。

また、この 4 つの記事から読み取れた原発に反対している理由は、以下の 3 つである。

- ・ 放射性廃棄物の処理の問題
- ・ 放射能の危険性
- ・ 原子力発電所での事故の発生時の被害の大きさ

以上のように、電子版記事では全く原発のメリット・良い点に関しての記述はなく、様々な観点から原発反対の立場で意見が述べられていることがわかる。

---

<sup>46</sup> 研究社新英和中辞典 <http://ejje.weblio.jp/content/prestige> (2014 年 1 月 19 日閲覧)

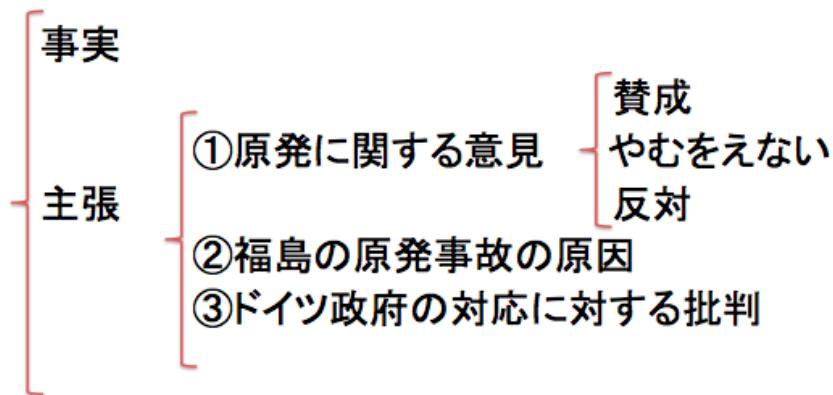
<sup>47</sup> 南ドイツ新聞電子版記事 „Vergessene Ruinen“ <http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessene-ruinen-1.1305343> (2014 年 1 月 19 日閲覧)

<sup>48</sup> 同上

<sup>49</sup> 同上

#### 4.2 南ドイツ新聞電子版コメント欄

本項では、南ドイツ新聞電子版記事に設けられたコメント欄の分析結果を記す。以下のように、内容のカテゴライズを行った。



まず、電子版記事と同様に、【事実】と【主張】の2つに分類することができる。

【事実】というのは、福島やチェルノブイリで発生した原発事故の詳細などの事実報道のことである。

【主張】については、さらに3つに分けることができた。1つ目は①原発に関する意見、2点目は②福島の原発事故の原因に関するコメント、3点目は③ドイツ政府の対応に対する批判である。

そして、①原発に関する意見に関しては、賛成、やむをない、反対の3つに分類することができた。これに関するコメント例を以下に記す。

##### ①原発に関する意見

###### 賛成

- ・「地震や津波は取り立てて言うほど、発生するわけではない。」
- ・「原発は年金のように安全である」
- ・「常に原子力の技術は安全性を高めている」
- ・「風力発電や水力発電の建設場所は、人口過剰の町には全然ない。」

###### やむをない

- ・「再生可能エネルギーへの完全な転換はすぐには困難」

###### 反対

続いて、②福島の原発事故の原因に関するコメント、③ドイツ政府の対応に対する批判の

コメント例を以下に示す。

②福島の原発事故の原因に関するコメント

- ・（電子版記事ないで原発の危険性についてばかり報道していることに  
対して）「日本の福島の震災で 15000 人亡くなったのは原子力発電所の  
せいではなく、大規模な自然災害のせいである。」

③ドイツ政府の対応に対する批判

- ・「政府、政治家はちゃんと脱原発に向けて動いていない。」
- ・「電力財閥と政府の癒着が日本やドイツは強すぎる。」

コメント欄では原発の是非だけではなく、様々な観点から議論されている。具体的には、記事で書かれていることよりも深い内容だったり、記事では取り上げられていないことが書かれている。また、原発賛成のコメントの方が想像以上に多かった。これは記事が原発反対だからこそ、コメント欄では原発賛成派が積極的にコメントしていると考えられる。賛成、反対だけではいえない。曖昧さがあるコメントも多かった。

#### 4.3 意識調査 インタビュー

本項目では、意識調査として実施したインタビューの結果を記す。

メディア媒体では見えてこない部分の調査を目的に日本語を学んでいる以下の 6 名のドイツ人学生にインタビューを行った。以下に、被験者の属性一覧を再掲載する。

（再掲載）<表2 被験者の属性一覧>

番号	性別	大学、専攻	日本語学習歴
1S	女	ベルリン自由大学 韓国学	6ヶ月
2A	女	ベルリン自由大学 日本学	2年
3B	女	ベルリン自由大学 日本学	3年
4C	女	ベルリン自由大学 日本学	3年
5D	女	ベルリン自由大学 日本学	5年
6E	女	ベルリン自由大学 日本学	3年

#### 4.3.1 インタビュー結果

本項目では、

「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？」

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

という質問に対する各被験者の回答と、各インタビューのまとめ・考察を記す。

原子力エネルギーの是非については、“ドイツ国内”での原子力エネルギーによる電力生産に対する是非に焦点を当てて回答をまとめた。被験者の中には、日本における原子力エネルギーの活用とドイツにおける原子力エネルギーの活用の2つに分けて意見を述べてくれた被験者がいたが、今回はドイツの新聞との比較を行うため、ドイツ国内での原子力エネルギーによる電力生産への是非に焦点を当てる。

##### 4.3.1.1 Sさんの回答

###### 4.3.1.1.1 原子力エネルギーの是非 (Sさん)

質問：「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？」

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

回答（抜粋）：

- 反対である。 (1S7)<sup>50</sup>
- 原子力はとても有毒であるため。そして将来、処理できないくらい多くの放射性廃棄物が発生するため。放射性廃棄物は消えず、それは自然に処理することが不可能である。そして、放射線が原因で多くのものが破壊され、動物や人間、植物に対して突然変異を引き起こす。原子力エネルギーによって安く電力を生産できるとしても、我々の子孫に対して放射性廃棄物と共に破滅を引き起こすということになり意味がない。 (1S8)
- 原子力エネルギーが原因で、将来自分の子供が世界崩壊に直面することが心配であるため。それに加えて、突然変異も起こりうる。 (1S29)
- なぜ、人間は環境や人間に有害であるものを持とうとするのか。 (1S32)
- そして、私はいつも原発反対派である。未来がない。我々はいつか場所がなくなり、放射性物質をどこかにもつていかなければならぬ。 (1S63)

<sup>50</sup>斜体は、被験者のドイツ語での回答を日本語で訳したもの、または日本語での回答を引用したものであることを表す。また、0内の英数字はインタビューでの回答のコード番号を表す。右から、インタビュー被験者のコード番号、そして回答番号（添付資料「インタビュー書き起こし」参照）を表す。

- そして、放射線を完全に消失させるのには長い時間がかかる。そして、私は福島の事件についても心配である。どのくらいの放射性物質が今、海中にある？（東京電力や日本政府は）未だに多くの放射性物質があると言った。（東京電力や日本政府は）今になって気づいている。（1S64）
- そして自問自答する、どのくらいの放射線が既に海中に？どのくらいの魚がそれを吸い込んでいる？そのくらいの魚が突然変異を引き起こしている？どのくらいの人がすでにこれらの汚染された魚を食した？（1S65）
- 汚染されたモノが私たちに被害を与える。我々が海水浴した時、魚や何か海からのものを食した時、我々に被害がないとは言い切れない（1S66）
- 魚は海から。我々が考えていることが全て可能性がある。我々にはしなくてならないことがたくさんある。そして、水から雲が発生し、陸の上空に来て、雨が降り、そして地下水に流れる。（1S68）
- 私たちは（原子力エネルギーの使用によって）自らを毒している。（1S70）
- 私たちが原子力発電所を保持し続けるということは、自らを毒しているということである。いつかどこかで放射能が発生していて、放射性廃棄物のために十分な場所がない。人々はいつもどこに放射性廃棄物を持っていくかで争っている。だれも放射性廃棄物を持ちたくないから。（1S71）
- もしそれが有害ではなく、問題がなければ良いのに、、、（1S74）
- 私も毒を飲むことができる。または、タバコを吸うこともできる。私は、本当に多くのタバコを吸い自分を殺すこともできる。しかし、それらはしなくてもよいことである。そして、それは環境にとってかなり有害であるから。私たちはどれかの樽を作り、現在のところは置いておくことができる。どこに置くかは関係なくそれは単に危険である。しかし、その樽をあける際いつも危険である。（1S83）

#### 4.3.1.1.2 まとめ・考察 (Sさん)

Sさんは、前項からもわかる通り原子力エネルギーによる電力生産に“反対”的立場である。

Sさんは、

- ・二酸化炭素排出がゼロでクリーンなエネルギーである。（1S52）
- ・危険ではない（1S52）

というように原子量エネルギーのメリットを上げていた。一方で反対している理由として

- ・放射性廃棄物の発生、処分（1S8）
- ・放射線の人体への有害さ（1S8）

を上げている。

また、

(私が福島第一原子力発電所事故後に読んだ記事の多くは脱原発派ばかりであったと話したところ) それはドイツの発展のために重要な一步である。 (1S43)

と話し、脱原発という政府の方針に大賛成していることがわかる。

そして、

原発に賛成の人はまず、原発の側に住みそしていつか原発の事故が起きた時に、原発の有害さに気づいてほしい。 (1S73)

とも述べ、強く原子力エネルギーの活用していることが伺える。その背景には、原子力エネルギーが原因で、将来自分の子供が世界崩壊に直面することが心配であるため。それに加えて、突然変異も起こう。 (1S29)

というように、子供や孫の世代のことを考えてのことのようである。

#### 4.3.1.2 Aさんの回答

##### 4.3.1.2.1 原子力エネルギーの是非 (Aさん)

質問：「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？」

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

回答（抜粋）：

- どちらかといえば反対である。 (2A4)
- 安全ではなく危険であるためである。もしとしても安全で問題なく機能するなら、とても良いと思う。しかし、現在はまだ安全ではない。だから、どちらかというと反対の立場である。 (2A5)
- 将来危険という問題が解決されれば、全く問題ない。 (2A9)
- ポイントをクリアして、安全になった時、脱原発派ではなくなると思う。しかし、現在ある風力発電所は自然に優しく、良いと思う。しかし、それは我々が求めている比率とは異なり、重要な要素である。原子力発電所は安全であればそんなに悪くないと思う。 (2A16)
- “原子力発電”という考え方は悪くはない。その考え方には、エネルギーを産み、根本的には良い。ただ、うまく制御できていないのが問題である。 (2A18)

##### 4.3.1.1.2 まとめ・考察 (Aさん)

Aさんは、原子力エネルギーによる電力生産に“どちらかといえば反対”という立場である。

- ・ 原子力エネルギーは自然に優しい。 (2A16)
- ・ “原子力発電”という仕組みは良い。 (2A16)
- ・ 原子力エネルギーによる電力生産は、効率的である。 (2A7)

というように、原子力エネルギーによる電力生産に対してある程度賛成しているが、

安全ではなく危険であるためである。もしとしても安全で問題なく機能するなら、とても良いと思う。しかし、現在はまだ安全ではない。だから、どちらかというと反対の立場である。 (2A5)

と述べ、決して安全とはいきれないため反対しているようである。

#### 4.3.1.3 Bさんの回答

##### 4.3.1.3.1 原子力エネルギーの是非 (Bさん)

質問：「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

回答（抜粋）：

- ・ どちらかといえば反対である。 (3B5)
- ・ 確かに、原子力発電によって生産された電力は安く、おそらく容易に電力生産できる。しかし、将来、私たちの未来のことを考えると、原子力発電は使用すべきではないと思う。理由は、事故の危険性のためである。放射性廃棄物を処理することが難しい。それは、とても危険である。いま、再生可能エネルギーに投資した場合、完全に原子力発電所が必要なくなる時がくると思う。 (3B6)
- ・ 今の原子力発電所はそんなに悪くないと思う。しかし、ドイツ政府の方針のように長い目で見たとき、徐々に脱原発することは良いことだと思う。 (3B25)
- ・ 事故と放射能、放射性廃棄物の危険性 (3B33)
- ・ (ドイツで)原発事故はそんなにないかもしれない。しかし、放射性廃棄物が大きな問題である。 (3B39)
- ・ 誰も放射性廃棄物を欲しない。放射性廃棄物は100年以上有害であり続ける。 (3B40)

##### 4.3.1.3.2 まとめ、考察 (Bさん)

Bさんは、原子力エネルギーによる電力生産に“どちらかといえば反対”という立場である。

今の原子力発電所はそんなに悪くないと思う。 (3B25)

と述べ、さらにAさんと同様に

- 原子力エネルギーによる電力生産は安価である。 (3B6)

- 原子力エネルギーによる電力生産は容易である。 (3B6)

などのメリットを上げていた。しかし、

再生可能エネルギーの普及が難しい理由として、場所がない。 (3B35)

と述べ、原子力エネルギーの代替エネルギーとして考えられている再生可能エネルギーの装置の設置場所がないという見解を述べている。、さらに

将来、私たちの未来のことを考えると、原子力発電は使用すべきではないと

思う。理由は、事故の危険性のためである。放射性廃棄物を処理することが  
難しい。 (3B6)

とし、事故の危険性から原子力エネルギーの電力生産に反対している。

また、おおくのドイツ人が脱原発派であることに対して、

- ドイツ人の環境意識の高さ (3B50)

- ドイツ人は、ビオ、エコに好意的である。 (3B53)

などの理由を上げていた。

#### 4.3.1.4 Cさんの回答

##### 4.3.1.4.1 原子力エネルギーの是非 (Cさん)

質問：「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

回答（抜粋）：

- 反対である。 (4C4)
- 人間が制御できない力であるためである。もしさらに研究を続けると、いつか本当に安全な時がくるだろう。しかし、安全であることが判明する前には原子力発電所を稼働させるべきではない。 (4C5)
- ドイツには多くの風力発電機や、風力発電所がたくさんあり、代替エネルギーもたくさんある。そのため、原発反対派である。単にドイツには、原子力エネルギー以外のエネルギー、きれいなエネルギーがあるためである。 (4C6)
- あなたが脱原発派である最も大きな理由は原子力廃棄物ですか？ (4INT29)

- 放射性廃棄物とともに福島の事故である。事故が発生した際に何が起こったか。1986年当時はチェルノブイリでの事故のおかげで、比較的不安な時期であった。……)チェルノブイリに対して、我々は皆恐怖感を抱いていた。そして、福島の事故はチェルノブイリの事故よりも少し大きい事故であった。そのため、もし飛行機の墜落、転落が我々の身に起こった時、人々は恐怖感を抱く。何が起こる?もちろん、この恐怖感がある。しかし、放射性廃棄物の存在が原発を反対する理由である。  
(4C29)
- (ドイツには地震が少なく、福島第一原子力発電所事故のような事故が起こる日本とドイツは異なる状況ではないか、という質問に対して)いいえ、しかし、例えばチェルノブイリはヒューマンエラーである。人間は完璧ではなく、ドイツ人ももちろん完璧ではない。つまり、誰かが、何か、間違いを起こすことがある。  
(4C31)

#### 4.3.1.1.2 まとめ・考察 (Cさん)

Cさんは、原子力エネルギーによる電力生産に“反対”の立場である。

原子力エネルギーに関して、

メリット

- ・二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーである。  
(4C6)

デメリット

- ・放射性廃棄物(4C29)
- ・広い場所を必要としない(4C25)

を上げながらも、デメリットの方が強いと話していた。しかし、

もしさらに研究を続けると、いつか本当に安全な時がくるだろう。

(4C5)

と述べ、

しかし、安全であることが判明する前には原子力発電所を稼働させるべきではない。  
(4C5)

と述べていた。現在の時点では、

- ・人間が制御できない力であるためである。  
(4C5)
- ・ヒューマンエラーの可能性(4C31)

を上げて原子力エネルギーによる電力生産を反対している。しかし、危険という問題が解決されれば、原子力エネルギーによる電力生産には賛成のようである。

また、ドイツ人の意識としてBさんと同様に

日本と比べて環境活動、BIO 食事や再生可能エネルギーはとても注目

されている。(4C17)

というように、環境意識が高いことを述べている。

#### 4.3.1.5 Dさんの回答

##### 4.3.1.5.1 原子力エネルギーの是非 (Cさん)

質問：「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？」

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

回答（抜粋）：

- 国による。(5D4)
- 例えば、日本での原子力発電所は地震などの天災の危険性があるので反対である。(5D5)
- しかし、ドイツにとって原子力エネルギーは再生可能エネルギーで十分に電力を作り出せるようになるまでの橋渡し技術(*Brückentechnologie*)であると思う。(5D5)
- 再生可能エネルギーはまだまだなんだけど、だからまだ必要だと思います。原発を(5D6)
- 短期的に考えると原子力エネルギーの使用すべきである。でも長期的に考えると脱原発すべきだと思う。(5D21)
- 再生可能エネルギーで十分な電力を生産できるようになるためには時間がかかる。風力発電の場合、沖に風車を作らなければならない。最初に全て装置を建設しなければ発電することはできない。つまり、今は風車建設に投資することができるだけでまだ電力を生産することはできない。(5D26)
- (なぜ再生可能エネルギーが良いと思うか、という質問に対して)安全であるからである。そして、原子力エネルギーのためにはプルトリウムが必要であり、プルトリウムには限界がある。(5D27)
- (原子力発電所は)危険である。そしてテロの危険性もある。(5D28)
- (原子力エネルギーを使用して)事故がないとは言い切れない。(5D32)

##### 4.3.1.5.2 まとめ・考察 (Dさん)

Dさんはドイツに原子力エネルギーによる電力生産について、短期的には賛成している。その理由として、

再生可能エネルギーはまだまだなんだけど、だからまだ必要だと思います。原発を。(5D6)

再生可能エネルギーで十分な電力を生産できるようになるためには時間がかかる。(5D26)

と話していた。しかし、これは短期的な場合にかぎり長期的には、

- ・ テロの危険性(5D28)
- ・ 事故の可能性(5D32)

などの理由をあげ、原子力エネルギーの使用には反対している。そして、

ヨーロッパ各国で安全基準が異なる。つまり、フランスやポーランドでは多くの原子力発電所がある。もしそれらの国で問題が発生した場合、ドイツにも被害が波及する。つまり、ドイツだけではなくヨーロッパ全体で脱原発を成し遂げなければならない。(5D29)

と述べ、最終的にはドイツが脱原発を成し遂げることはもちろんのこと、ヨーロッパ全体でこの問題を共有し、一緒に解決しなければならないと言う考え方を持っていた。具体的な解決策として、

例えば、太陽光エネルギーの場合、ヨーロッパの南部はヨーロッパの中で比較的日射量が多い。南には海がある。つまり、ヨーロッパ全体で協力して電力生産を行えば効率が良い。そのためには、ヨーロッパ全土をつなげる電線も必要である。(5D30)

とDさん自身の考えを述べていた。

しかし、ともかくこれは大きな挑戦であるので長期的な観点で考える  
と、ベストな解決策である。(5D32)

と述べ、ヨーロッパ全土で再生可能エネルギーによる電力で賄うようなシステム作りには時間を有するために、それまでの間、短期的には原子力エネルギーによる電力生産に賛成しているようである。

#### 4.3.1.6 Eさんの回答

##### 4.3.1.6.1 原子力エネルギーの是非 (Cさん)

質問：「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？」

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

回答（抜粋）：

- 反対 (6E4)
- チェルノブイリや福島の原発事故のように既に原子力発電所による多くの不幸が起こっているため。 (6E5)
- 危険なため。 (6INT6) (6E6)
- いつも何が起こるかわからない、事故が起こる可能性があるため、脱原発派である (6E23)

#### 4.3.1.6.2 まとめ・考察 (Eさん)

Eさんは、原子力エネルギーによる電力生産に“反対”という立場である。理由として、いつも何が起こるかわからない、事故が起こる可能性があるため脱原発派である。 (6E23)

と述べていた。

#### 4.3.2 インタビュー結果のまとめ

「あなたは、原子力エネルギーによる電力生産に賛成ですか？

反対ですか？また、なぜそのように考えていますか？」

という質問に対する 6 人のインタビュー結果をまとめると以下のようになる。以下のようにカテゴライズした。

・反対……………1人

➤ 原子力エネルギーによる電力生産に反対。脱原発というドイツ連邦政府の方針に賛成している。

- ・ (私が福島第一原子力発電所事故後に読んだ記事の多くは脱原発派ばかりであったと話したところ) それはドイツの発展のために重要な一步である。 (1S43)
- ・ 原発に賛成の人はまず、原発の側に住みそしていつか原発の事故が起きた時に、原発の有害さに気づいてほしい。 (1S73)

・どちらかというと反対……4人

➤ 放射線、放射性廃棄物などで危険であることを理由に反対している。しかし、基本的に原子力エネルギーや原子力発電所の考え方には肯定的。

- ・短期的には賛成・・・・・・1人

➤ 代替エネルギーにふさわしい再生可能エネルギーによる電力が十分に生産可能になるまでは、原子力エネルギーの使用に肯定的な立場である。

6人とも基本的には反対の立場であるが、原子力発電に賛成・反対というように意見を二分することは困難である。「反対」意見の中にもさまざまな「反対」意見があることがわかった。

全体を通して

- ・原子力エネルギーによる電力生産は安い
- ・原子力エネルギーによる電力生産は容易

などの原子力発電所のメリットも聞くことができ、「原子力発電所の考え方は悪くない」という意見が聞くことができた。一方で、ドイツでは日本と同様に津波や地震がが頻繁に起きない中でも「事故が発生しないとは言い切れない」とのことで原子力エネルギーによる電力生産に反対している学生がいた。

原子力エネルギーによる電力生産の是非に関する意見について「再生可能エネルギーで十分に電力を生産することができると思うか」という質問をしたところ、上述の質問の回答と結果は大きく異なった。

- ・可能である・・・4人

再生可能エネルギーのみで電力を十分に生産することはできる。

- ・難しい・・・・・・2人

再生可能エネルギーで十分に電力を生産することは困難である。コストがかかりすぎる。

筆者は「ドイツの多くのメディアが反原発の論調であるため、ドイツ人の多くは脱原発に賛成しているのではないか」と考えていた。しかし、この回答の結果は、前述の原子力エネルギーの是非についての質問に対しての反対1人、どちらかというと反対1人、短期的には賛成1人という結果と一致しないことから、1人、1人が、様々なメディア媒体から情報を収集し、自分自身の意見を作り上げている、といえるだろう。

原子力発電に反対している理由として、インタビュー調査では以下の4点がわかった。

- ・事故の危険性
- ・放射性廃棄物の処理の問題
- ・放射線

- ・ 福島第一原子力発電所事故の悲惨さ

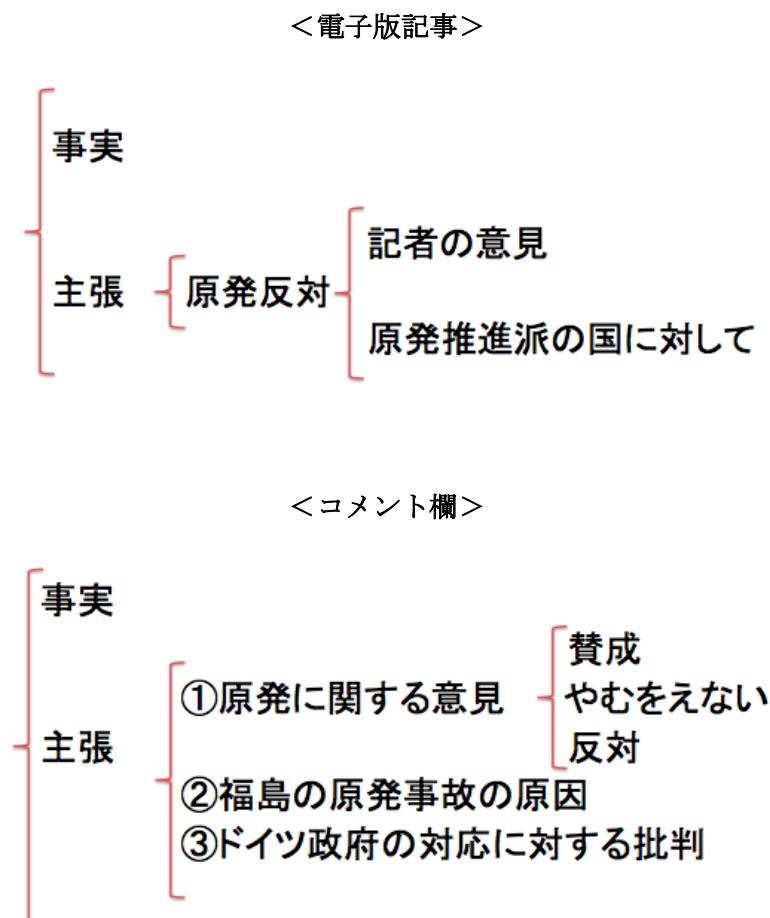
被験者 6 名は環境政策専攻ではなく日本学専攻であるにもかかわらず、かなり深い部分まで知識をもっておりドイツ人の環境意識、原発問題への意識の高さを感じた。例えば、再生可能エネルギーについて、風力発電所の建設について、電線の効率性についてなどである。これは、「ドイツ人は、ビオ、エコに好意的である。(3B53)」「日本と比べて環境活動、BIO 食事や再生可能エネルギーはとても注目されている。(4C17)」というように、ドイツ人が環境意識が高いことが表れているといえよう。

また、私は日本の福島の原発事故の発生が理由で多くのドイツ人は脱原発に賛成していると考えていた。しかし、それは間違いであった。ドイツ人被験者は、日本での福島第一原発事故やチェルノブイリでの原発事故の発生が理由で、脱原発の立場あるでのはなく、日本という島国での津波や地震の影響を受けやすい地形とドイツの地形が異なることを考慮し、放射線や放射性破棄物などの危険性から脱原発という立場であるのだ。具体的には、「日本には津波や地震のような天災が起こりうる。しかし、ドイツはあまりない」(5D6)というように、ドイツでは日本で発生したような大きな津波や大きな地震滅多に起こらないことをドイツ人学生は把握している。では、なぜドイツ人学生は脱原発派なのであるのか。それは、「ヒューマンエラー」(4C31)の可能性や福島第一原発事故を見て、原子力発電によってそのような大きな事故が絶対起こらないとは言い切れないという考えを持っている。

## 5. 考察

### 5.1 電子版記事とコメント欄の比較、考察

電子版記事とコメント欄をカテゴライズした図を以下に再掲載する。



2つのカテゴライズした図を見ると、電子版記事、コメント欄どちらも【事実】、【主張】の2つに分類できることがわかる。

異なる点は、電子版記事では原発賛成の意見が一切述べられていないということである。また、コメント欄には、電子版記事で報じられている客観的事実や主観的な意見はもちろんのこと、それらに加えて、新聞上では報じられていない事実についてもコメントされていた。賛成、反対だけではいえない。曖昧さがあるコメントも多かった。つまり、より幅広い視野で議論が行われている。

そして、コメント欄では原発賛成のコメントが多かった。ただ、これは記事が原発反対だからこそ、コメント欄では原発賛成派が積極的にコメントしていると考えられる。

## 5.2 電子版記事とインタビューの比較、考察

脱原発派の意見に関して、電子版記事とインタビューで知ることができた意識との間には以下のように乖離が見られなかった。

### (電子版記事) 原発反対の理由として読み取れたもの

- A. 放射性廃棄物の処理の問題
- B. 放射線
- C. 原子力発電所事故発生時の被害の大きさ

### (インタビュー) 原発反対の理由

- A. 放射性廃棄物の処理の問題
- B. 放射線
- C. 福島第一原子力発電所事故の悲惨さ
- D. 原発事故の発生の可能性

また、電子版記事とインタビュー内容を比較すると、原子力エネルギーの利用に関して一致する意見を見つけることができた。

・「特に、放射性廃棄物をどこに持っていくのかが問題視されている。」(A4)

と

・放射性物質をどこかに持つていかなければならぬ。(IS63)

・「可能な限り早く、放射線はなくすべきである。」(A4)

と

・放射線を完全に消失させるのには長い時間がかかる。(IS64)

一方、インタビューを行い被験者は考えているが、電子版記事では報道されていない意見も見受けられた。

原子力エネルギーの使用に反対の立場からは、

・今のご時世、(原子力エネルギーを使った)テロの可能性もある。(5D28)

テロの危険性に関して、電子版記事上では全く記述がなかった。

原子力エネルギーの使用に、やむをなく賛成しているしている被験者からは、

・もしそれが有害ではなく、問題がなければ、良いのに、、、(IS74)

というように、頭ごなしに原発に反対しているのではなく、危険性が改善されれば原子力エネルギーによる電力生産にはメリットもあるので賛成する、という意見が見受けられた。

また、原子力エネルギーの使用に短期的には賛成している被験者は

- ・（「電気料金の上昇と原子力エネルギーの利用、どちらの方があなたにとってより重要か」（5INT34）という質問に対して）電力料金は、長期的に考えると、再生可能エネルギーによって効率的に電力が生産できるようになることによって下がる。そのため、長期的な観点からだと原発の使用をやめるべきであると思う。短期的な観点では原発を稼働させるべきである。（5D34）

と述べ、再生可能エネルギーで十分に電力を生産できるようになるまでは、原発の稼働が必要であろうと話していた。

また、逆に電子版記事では報道されているが、被験者からは聞くことができなかつたことがある。

- ・「大半の国民はすばやく脱原発を求めている。」（A1）

この“大半”というのは、どのような情報から記述しているのかは、電子版記事内では読み取ることができなかつた。これは、新聞会社または記者が、強く読者に「ドイツ国民の大半が、読者の皆さんも脱原発に賛成すべきです！」ということを訴えているように感じた。

以上の点を考えると、電子版記事の方が被験者よりも強く、速やかな「脱原発」の達成を訴えていることがわかる。

### 5.3 電子版記事とコメント欄・インタビューの比較、考察

メディア媒体として今回分析対象とした南ドイツ新聞電子版記事と、国民の意見を読み取るものとして分析対象としたコメント欄、意識調査の結果を比較すると乖離を発見することができた。南ドイツ新聞電子版記事、それに設けられているコメント欄、そしてインタビューによる意識調査を比べると、コメント欄、意識調査では電子版記事では見ることができない幅広い意見が見受けられた。具体的には、電子版記事では一切、原子力エネルギーに使用についてのメリット・良い点に関しての記述はなく、全て原発反対の立場で報じられていた。そして、賛成・反対ではなく原発の稼働は仕方がないというような曖昧な意見も電子版記事では報じられていなかつた。

一方で、電子版記事、コメント欄、インタビューによる意識調査で読み取ることができた原発反対という意見を持つことに関して、その理由には大きな違いは見られなかった。

インタビューによる意識調査を通して、被験者の大半は脱原発に賛成であった。そして、被験者に質問したところ、ドイツ人の大半が脱原発に賛成しているのではないかという回答聞くことができた。しかし、電子版記事内に原発の良い点に関しての記述が全くないのは、メディアとして国民に「原発に良いところは全くない」というように誤解を与えるかねないのでないか。少なくとも原発賛成派の意見、原発反対派の意見、双方を取り上げ、読者に「考える」機会を提供すべきであると考える。

私自身が本テーマで研究を始めるきっかけとなった「ドイツ新聞の大半は脱原発派である」という考えは、間違っていないようであった。しかし、被験者らは、それが理由で原発に反対しているのではないようである。「決してメディアに影響されているのではなく、インターネットなどにある様々な原発に関する主張・意見から自分の意見を作り上げている」ということであった。この点に関して、日本の学生も学ばなければならないと思う。多くの日本の学生は新聞を読まない。そのため、日本の学生は世の中で起こっていることについて疎い。しかし、ドイツ人学生はしっかりと新聞などのメディアを読み、世の中で起こっていることを把握しているだけではなく、そこから自分自身の意見を作り出しているのである。

## 6. 結論、今後の展望

本論文では、

- ・南ドイツ新聞(Süddeutsche Zeitung)の電子版記事
- ・南ドイツ新聞の電子版記事に設けられたコメント欄
- ・意識調査として行ったインタビューの結果

の三点の比較・分析を行い、これらについて結論付けをした。しかし、ここで出された結論が南ドイツ新聞のみの現象、南ドイツ新聞電子版記事のみの現象、またはインタビューのご協力を頂いたドイツ人6人の学生のみの現象であるのか、それともドイツメディア、ドイツの世論というように一般化できる現象なのかの結論付けを行うためには、より多くの事例の研究が必要になる。つまり、さらに分析を行う新聞記事の対象を広げること及び、さらに多くの学生を対象とした意識調査が必要である。また、具体的にどのくらいの期間の記事を研究対象とするのかということに関しても議論の余地があるだろう。

今後この内容を踏まえて、より多くの記事・学生を対象に研究を行い、より一般的な脱原発に関する新聞報道と世論の比較を行い、提案をおこなっていきたい。

## 7. 謝辞

本論文は、筆者が慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科に在籍中の研究成果を卒業論文としてまとめたものです。本研究を遂行し卒業論文をまとめるに当たり、終始ご指導ご鞭撻を頂きました本学 薫谷郁美教授には心より感謝致します。入学時から、ドイツへの交換留学の際などに大変お世話になりました。

本研究の趣旨を理解し快く協力して頂いた、ベルリン自由大学に在籍している6名の学生の皆様にも深謝致します。また、ベルリン自由大学在籍の学生、ハレ大学在籍の学生の友人らには、ドイツ語の分析の際に協力して頂きました。心から感謝しております。

最後になりますが、最後まで一緒に頑張ってきた研究会の皆、自分の研究活動を見守ってくれこれまでの生活支えてくれた家族にも大変感謝しております。ありがとうございます。

## 8. 参考文献

### 文献

- 佐藤郁哉(2006)ワードマップ フィールドワーク 増訂版 書を持って街へ出よう  
新曜社
- 堀薰夫, 久保真人, 成島美弥(2004) 質的調査法入門 教育における調査法とケース・スタディ ミルヴァ書房
- 荘本孝久, 望月利男(1996) 阪神・淡路大震災に関わる新聞記事情報の整理-震災の時系列的分析に向けて-, 地域安 全学会論文報告集, Vol. 6, pp. 293-298.
- 浅田賢一, 床井則友, 片谷教孝(1995) 阪神淡路大震災における新聞報道の時間的推移と地域比較, 地域安全学会論文 報告集, Vol. 5, pp. 309-314.
- 床井則友, 浅田賢一, 片谷教孝(1996) 阪神淡路大震災における新聞報道の時間的推移と地域比較, 日本オペレーション ズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp. 26-27.
- 土田辰郎, 木村浩(2011) 原子力事故報道の比較にみるマスメディアの情報伝達のあり方の検討, 日本原子力学会和文論 文誌, Vol. 10, No. 2, pp. 132-143.
- 中島達雄(2010) 原子力報道にみるマスメディア間の相互作用とその要因の分析, 社会技術研究論文集, Vol. 7, pp. 110-119.

- 横内陳誠, 阿部佐智, 柴田偉斗子, 南出将志, 加藤浩徳(2012)東日本大震災に関する海外四カ国の新聞報道の特性, 社会技術研究論文集, vol9, 1-29, May 2012
- 大磯眞一(2011)福島第一発電所事故後の原子力発電に対する海外世論の動向, “INSSJournal, Vol. 18, pp. 310-316.
- 中川進(2011)大震災・原発事故とメディア, 大月書店
- 上杉隆(2012)メディアと原発の不都合な真実, 技術評論社
- 南ドイツ新聞(Süddeutsche Zeitung) 紙媒体 2012年3月10, 11日付け
- 週刊東洋経済 臨時増刊(2012) 「原発ゼロ」は正しいのか 電力政策・無策の恐怖,

## URL

- 南ドイツ新聞 (Süddeutsche Zeitung) 電子版記事・コメント欄  
„Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft “  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347> (2014年1月19日閲覧)
- 南ドイツ新聞 (Süddeutsche Zeitung) 電子版記事・コメント欄  
„Vergessen Ruine “  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/energiepolitik-nach-der-katastrophe-vergessen-ruinen-1.1305343> (2014年1月19日閲覧)
- 南ドイツ新聞 (Süddeutsche Zeitung) 電子版記事・コメント欄  
„Japan hält inne und gedenkt der Opfer “  
<http://www.sueddeutsche.de/panorama/jahrestag-der-katastrophe-japan-steht-still-1.1305631> (2014年1月19日閲覧)
- 南ドイツ新聞 (Süddeutsche Zeitung) 電子版記事・コメント欄  
„Zehntausende demonstrieren gegen Atomkraft “  
<http://www.sueddeutsche.de/politik/proteste-in-deutschland-zehntausende-demonstrieren-gegen-atomkraft-1.1306347> (2014年1月19日閲覧)

## 【付録 1】図表リスト

表 1 分析対象；電子版記事	7
図 1 南ドイツ新聞電子版コメント欄	8
表 2 被験者の属性一覧	9

## 【付録2】 インタビュー書き起こし

### 【目次】

インタビュー 1

インタビュー 2

インタビュー 3

インタビュー 4

インタビュー 5

インタビュー 6

### 【インタビュー1S】

INT1 : So, zum erst Mal, die Daten ausschließlich...

S1 : Bist du sicher, dass man dich hören kann, wenn du so weit weg bist?

INT2 : Vielleicht?! Ok, ok, ok.

S2 : Ich weiß es nicht. Ich frage nur. (...)

INT3 : Ok, so zum ersten Mal die Daten ausschließlich werden für meine Abschluss... Abschlussarbeit verwendet und nicht weitergeben, ähm weitergegeben. Kann ich diese Interview aufnehmen?

S3 : Ja.

INT4 : Dankeschön. So, zum ersten Mal, frage ich dir ein paar Frage.

S4 : Ja.

INT5 : Frage ich dir ein paar...

S5 : Frage ich Sie.

INT6 : (...)dann, danach am Ende werde ich sagen über meine Abschlussarbeit. Oder warum möchte... warum ich diese Interview machen möchte, oder so.

S6 : Du kannst sagen: Werde ich noch etwas von meiner Abschlussarbeit erzählen und warum ich dieses Interview machen möchte.

INT7 : Ja, Danke, okay. So mmhh to... **Frage 1: So, bist du für die Erzeugung von Strom aus Atomkraft oder dagegen?**

S7 : Ich bin dagegen.

INT8 : Dagegen. So, **weshalb denkst so?**

S8 : Weil Atomkraft sehr schädlich ist. Und weil wir in Zukunft dann immer mehr Atommüll haben, den wir nicht abbauen können. Der Atommüll verschwindet nicht, er ist nicht biologisch abbaubar. Und durch die radioaktive Strahlung kann ganz viel kaputt gehen. Es können Mutationen ausgelöst werden, bei Tieren, bei Menschen, bei Pflanzen. Und im Endeffekt lohnt sich das dann nicht, auch wenn es billiger herzustellen ist, aber wie wir die anderen Ressourcen besser nutzen können, wäre es doch dumm, für unsere Kinder die Welt so kaputt zu machen mit dem Atommüll.

INT9 : Ja, okay, so hmm **woher hast du deine Informationen zum Thema Atomenergie oder so bekommen?**

S9 : Ähm, unter anderem durch Dokumentationen aus dem Fernsehen, vor allem irgendwelche wissenschaftlichen Dokumentationen, Medienberichte im Fernsehen und wenn irgendetwas mit Atomkraftwerken passiert bzw. passiert ist, wie im Falle von Fukushima.

INT10 : Ja.

S10 : Und, ja früher noch, als Kind, durch meine Eltern, die mir schon damals erzählt haben, wie schlecht das eigentlich für uns ist und so weiter.

INT11 : Okay, so deine Eltern auch gegen AKW?

S11 : Ja.

INT12 : Okay, okay. So **welche Informationenquelle ist am wichtigsten für dich?**

S12 : Ähm, welche Informationsquelle ist am wichtigsten für mich?

INT13 : Oder nur am, am wie sagt man (...)?

S13 : Für mich, um mich zu informieren, oder?

INT14 : Für dich, ja.

S14 : Ähm, ich finde Dokumentationen sehr wichtig, weil sie oftmals Sachen zeigen, die wir sonst nicht bemerken würden, oder die wir uns sonst nicht angucken würden. Zum Beispiel ähm, habe ich neulich eine Dokumentation gesehen, zum Thema Fracking. Was, ähm, worüber nachgedacht wurde, ob das auch in Deutschland durchgeführt werden soll. Und da wurde gezeigt, wie viel Fracking eigentlich in Amerika an Natur kaputt gemacht hat.

INT15 : Was ist Fracking?

S15 : Ähm, bei Fracking wird versucht bestimmte, zum Beispiel Erdgas, leichter zu fördern. Dadurch wird ähm ... ahh, das ist ein bisschen schwer zu erklären... ähm, dabei werden bestimmte Chemikalien in die Erde gepumpt und dadurch wird das nach außen gedrückt.

INT16 : Okay, okay, okay.

S16 : Also auf jeden Fall wird es dadurch gefördert und da brauchen sie sehr, sehr viele Chemikalien, die giftig sind und die Natur wird kaputt gemacht.

INT17 : Ja, ja.

S17 : Und an vielen Orten ist zum Beispiel Erdgas ausgetreten. Das heißt, sie haben einen Trichter auf den Boden gestellt und haben mit dem Feuerzeug das anzünden können, weil so viel Gas aus der Erde gekommen ist durch dieses Fracking.

INT18 : Okay.

S18 : Ich denke bei Dokumentationen sieht man viele andere Sichtweisen. Normalerweise wird einem im Fernsehen oder bei vielen Sachen nur gezeigt: „Das ist toll! Und das ist gut und positiv“, wie zum Beispiel, wenn man Schminke kauft, oder so.

INT19 : Ja.

S19 : Und wenn man dann aber liest, was für schlechte Inhaltsstoffe und krebserregend die Sachen sind, dass man sie eigentlich nicht benutzen würde. Man kriegt immer nur diese schöne Seite und Dokumentationen sind sehr wichtig, um zu sehen, was gibt es noch für negative Seiten.

INT20 : Ach so, okay, so aber Dokumentation heißt (...)

S20 : Das sind Filme.

INT21 : Filme. Ah unun.

S21 : Das sind Filme, die sich auf ein Thema spezialisieren, zum Beispiel ähm, wer... was kann man sagen? Z. B. so was wie auch jetzt was das Thema Fracking angeht, Auswirkungen von Fracking. Dass ein Amerikaner sich gefragt hat, warum die Umwelt in seiner Umgebung kaputt geht. Und dann hat er gefilmt und er hat überall in der Nähe von diesen Fracking-Orten, hat er mit Menschen gesprochen. Und sie haben gesagt, wie schlecht es ihnen geht. Oder z.B. andere Menschen, die mit Pestiziden in Kontakt kommen, wie viele Menschen krank geworden sind. Oder eine Dokumentation über ein amerikanisches Unternehmen, das heißt „Luzanto“.

INT22 : Ja.

S22 : Sie verkaufen gentechnisch veränderte Pflanzen und sagen: Damit ist, ähm hat man viel bessere Chancen eine gute Ernte zu bekommen. Aber in Wirklichkeit braucht man noch Dünger von ihnen, man braucht Saatgut von ihnen, man kauft das alles von ihnen und wenn man das nicht benutzt, wird das alles schlecht. Und im Endeffekt ist das zum Schluss das Produkt fast genauso von der Menge, wie wenn man das nicht gekauft hätte von ihnen, aber

die gentechnisch veränderten Pflanzen machen die anderen Pflanzen auch... verändern die anderen Pflanzen.

INT23: Uhum.

S23 : Und so wird das dann mehr und auch wenn man z. B. von ihnen keine Sachen gekauft hat, braucht man aber z. B. bestimmtes Gift, um die Tiere, die auf diesen Gen-Pflanzen sind, wieder zu töten und so weiter. Also es gibt viele Dokumentationen, die sich mit Aspekten beschäftigen, über die wir gar nicht nachdenken.

INT24: Okay.

S24 : Also z. B. welche Krankheiten man bekommen kann durch Pestizide und dass viele Bauern Krebs bekommen usw. weil es viel Gift gespritzt wird, damit die Tiere auf den Pflanzen sterben usw.

INT25 : Okay.

S25 : Das sind Dokumentationen. Ein bisschen ausführlich, tut mir...

INT26 : Okay, okay. Aber **warum denkst du, dass du durch diese Medien beeinflusst?**

S26 : Ähm, ich werde in der Hinsicht... man wird durch alle Medien beeinflusst. Wenn ich Fernsehen gucke, oder wenn ich Zeitung lese, weil nichts wirklich objektiv ist, selbst wenn ich einen wissenschaftlichen Artikel lese, ist der Artikel auch nicht objektiv. Ich habe einen Artikel gelesen über ähm den Zeitraum nach der Dreifach-Katastrophe...

INT27 : Ja.

S27 : ... in Fukushima. Und da drin haben sich die Autoren ein bisschen beschwert, dass die Werte doch nicht so hoch waren und warum die Japaner trotzdem gesagt haben: Ohh sie glauben nicht daran. Sie holen alle diese Geigerzähler und testen das. Und ich habe mich gefragt, warum beschweren sie sich darüber, wenn alles okay ist. Warum können sie nicht solche Geigerzähler geben, damit die Leute ihre Sachen testen können und damit sie sich sicher fühlen?

INT28 : Aha

S28 : Solche... Es gibt nichts, was wirklich objektiv ist. Alles ist ein bisschen subjektiv. Alle haben so ein bisschen ihre eigene Meinung. Und wenn man Medien sieht, z.B. ist doch die Frage, was wird in den Medien gezeigt? Zeigen sie hungernde Kinder in Deutschland? Wahrscheinlich nicht! Zeigen sie hungernde Kinder in Nordkorea? Ja! sie wollen Hilfsgelder usw. haben, die Leute fühlen sich eher angesprochen, denken: Ahh die armen Kinder usw.

INT29 : Ja.

S29 : Deshalb... Also man wird durch alle Medien beeinflusst. Ich denke, ähm weil sehr viel darüber gesprochen wurde, wie viel eigentlich durch Atomkraft kaputt gemacht wird, bin ich dahingehend beeinflusst wurden, weil ich Angst habe, dass für meine Kinder die Welt später kaputt ist, durch Atomkraft. Und da Atomkraft sehr viele Mutationen hervorrufen kann. Ich habe im Unterricht in der Schule, in Biologie, auch über DNA gelernt und ich weiß, dass radioaktive Strahlung Mutationen hervorrufen kann. Und das halt... das ist schädlich. Ich denke, man wird beeinflusst durch die Medien. Deshalb gibt es auch so viele Befürworter von Atomkraft. Weil sie denken: Es ist so billig und die Leute sagen, es ist doch sicher und wenn wir das in den Berg stellen, dann stört das auch niemanden.

INT30 : Ja.

S30 : Aber ich denke, das ist zu gefährlich.

INT31 : Mhmm.

S31 : Ich denke, wenn man ein Windrad aufstellen kann und Wind nutzen kann, der überhaupt nicht gefährlich ist und der immer da, fast immer da ist.

INT32 : Ja.

S32 : Warum soll man dann etwas nehmen, was der Umwelt schaden kann, den Menschen schaden kann.

INT33 : Okay, okay, okay. Aber denkst du, alle Stromnetz, alle Strom, alle Atomkraftwerk kaputt oder weg?

S33 : Ob ich dafür wäre? Ich wäre dafür, dass alle...

INT34 : Nee, nee, nee!

S34 : Oder was meinst du?

INT35 : Nee, ich meine... ich meine... **ich denke alle Strom kommt aus erneuerbare Energie ist ganz schwer, denke ich. Aber was denkst du? Ist das möglich, dass alle...**

S35 : Ich denke, das ist möglich. Es gibt in Afrika riesengroße Wüstenflächen, wo man Solar-Paneele aufstellen kann. Man kann so viele Solaranlagen in der Wüste aufstellen.

INT36 : Ja.

S36 : Es ist so unglaublich viel Platz, wo man das hinmachen kann und auch für die Nomadenvölker in Afrika ist es vielleicht wieder ein bisschen problematisch, aber ich denke an bestimmten Orten kann man das machen. Man kann auf alle, fast alle Häuserdächer, kann man Solaranlagen drauf machen.

INT37 : Ja. Okay, okay.

S37 : Man kann...

INT38 : Okay.

S38 : Es gibt so viele Möglichkeiten und ich denke, ähm, man muss nicht unbedingt die Ressourcen nehmen, die irgendwann aufhören, wie zum Beispiel Erdöl, oder Erdgas.

INT39 : Ahum.

S39 : Und ähm, Atomkraft ist zwar eine Energie, die man vielleicht noch sehr viel länger benutzen kann, aber wenn sie uns mehr schadet...

INT40 : Okay, alles klar.

S40 : Es gab ja auch diesen Vorfall, mit ähm, Tschernobyl. Wo dann durch, durch die Natur, also durch die Wolken dann auch Radioaktivität mit nach Deutschland gebracht wurde usw. und ...

INT41 : Ja.

S41 : Deshalb, also wir haben schon mehrfach gesehen, dass es schädlich ist, trotzdem wird weiter gemacht. Wahrscheinlich bekommen die Politiker sehr viele Löhne (?!). Ich weiß es nicht, aber ich verstehe nicht, wie man damit zufrieden sein kann.

INT42 : Ja, okay. So, ich erkläre kurz meine Abschlussarbeit. So, mhmm wie sagt man? Zum ersten Mal ich lese eine deutsche Zeitung aber fast alle deutsche Zeitung gegen AKW, fast alle. So, habe ich ganz viele deutsche Artikel gelesen, aber alle Artikel gegen AKW.

S42 : Aber hast du sie nach Fukushima gelesen oder vor Fukushima?

INT43 : Nach, nach, nach Fukushima.

S43 : Ah, ah okay. Das war ein sehr, sehr bedeutender Schritt für die Entwicklung in Deutschland.

INT44 : Ja?!

S44 : Weil vorher gab es auch viele Politiker, z.B. Angela Merkel, die nie dagegen waren und immer gesagt haben: Ja, und das ist sauber usw. und danach... tchung

INT45 : Ja und dann, aber als ich in Berlin war, habe ich mit ein paar Freund, ein paar deutsche Freund darüber gesprochen, aber ein paar Deutsche ist für AKW und so ich habe gedacht, Medien und eigene Meinung ist ein bisschen unterschiedlich. Das heißt, alle deutsche Zeitung und Medien ist gegen, ne?! Aber es ist nicht, glaube ich, deutsche eigene Meinung, sondern einfach Deutsche, Deutschland, deutsche Regierung natürlich gegen AKW, ne. Dann deshalb alle deutsche Medien auch gegen Meinung und diese betreffende Bevöl...Bevölke

S45 : Bevölkerung

INT46 : Bevölkerung ist auch ganz beeinflusst wurden als hier, so ich habe...

S46 : Ähm.

INT47 : interessant, ja...

S47 : gefunden.

INT48 : Ja.

S48 : Ich denke, in Deutschland sind noch zwei Faktoren sehr wichtig.

INT49 : Ja.

S49 : Deine Eltern, was dir deine Eltern als Kind gesagt haben und die Politik. Es gibt viele Menschen, die z. B. sehr für die Politik von der CDU waren und gesagt haben: die von der Regierung sagen, die Politiker sagen: Alles okay, es ist sauber, es ist billig, warum sollen wir etwas anderes machen? Und das haben sie ihren Kindern erzählt.

INT50 : Okay

S50 : Also einmal der Faktor Politik und dann, was sie ihren Kindern erzählen. Und die ... ich denke die Kinder nehmen viel von den Eltern mit.

INT51 : Ja, ja

S51 : Und wenn die Eltern gesagt haben: Okay, gut. Es... Sie sagen immer es ist sauber und es ist sicher und es ist nichts passiert...

INT52 : Ach so

S52 : ... und ich denke, sie beeinflussen die Kinder auch sehr stark. Und das ist so ein... bestimmte Sachen, sind sehr fest dann in dem Menschen drinnen. Sie glauben ganz fest daran. Meine Eltern haben gesagt, dass es sich... warum sollte das nicht so sein und sie behalten diese Meinung, viele Leute. Und wenn sie alt sind, sagen sie: Ah ja... Vielleicht ändert sich das später, aber vorher denken sie, ja... Atomkraftwerke. Es war ja immer... es war ja immer das Argument: Es gibt kein CO2 Ausstoß, es ist sauber...

INT53 : Ja.

S53 : Und es ist nicht gefährlich, es ist kein Problem und alles ist gut. Aber das ist das Problem, es... wer glaubt was. Und wenn deine Eltern gesagt haben, Atomkraft, z.B. die die auch darüber nachgedacht haben, was nach Tschernobyl passiert ist.

INT54 : Ja, ja, ja.

S54 : Oder jetzt zum Beispiel Fukushima. Nur durch diese Ereignisse haben die Leute nachgedacht. Und angefangen, darüber weiter sich Gedanken zu machen. Weil sonst, wie z.B. wenn man... wenn man Dokumentationen sieht, sieht man immer noch die andere Seite, aber wenn man nur etwas hört, z.B. die Politiker sagen: Jaa das ist ganz gut! und die Betreiber vom AKW sagen: Oh, das ist alles okay, das hier ist sauber und sicher und machen Sie sich

keine Sorgen. Und sie haben ja die AKWs getestet und ich glaube, ziemlich viele hätten den Test nicht bestanden.

INT55 : Ja.

S55 : Und weil sie glauben ganz viel und sie fragen nicht nach.

INT56 : Aber...

S56 : Sondern, wenn deine Eltern das schon immer gesagt haben: Atomkraft, alles okay! Dann glaubst du das auch.

INT57 : Aber, aber das heißtt, bevor nach... bevor Fukushima bist du für AKW?

S57 : Nein!

INT58 : Trotzdem, aber deine Eltern...

S58 : Nein!

INT59 : Man... ach so.

S59 : Meine Eltern waren immer dagegen.

INT60 : Immer dagegen?

S60 : Und ich auch. Und z. B. als meine Schwester ein Kind war, konnte meine Schwester nicht auf den Spielplätzen spielen, für eine bestimmte Zeit. Wegen dem Regen, der aus ... ja aus... oh Gott, jetzt fällt es mir der Name nicht ein. Der Atomkraftwerk- Vorfall in ... über den ich vorher gesprochen habe.

INT61 : Aha.

S61 : Tschernobyl!

INT62 : Tschernobyl

S62 : Und ähm, zu dem Zeitpunkt ist eine große Wolke aus Russland nach Deutschland gekommen. Und es hat geregnet. Und deshalb hat meine Mutter ganz sehr Angst gehabt und hat meine Kinder... ähm hat meine Schwester nicht im Sand spielen lassen oder so. Weil sie Angst hatte, dass sie etwas isst und dann die Radioaktivität isst usw.

INT63 : Ja, ja

S63 : Und ich war schon immer dagegen und ich denke, für die Zukunft, dass... es hat keine Zukunft. Wir haben irgendwann keinen Platz mehr und dieses radioaktive Material irgendwo hin zu legen.

INT64 : Ja. Ja ja.

S64 : Und es dauert viele, viele, viele Jahre, bis das nicht mehr radioaktiv ist. Und ich habe auch Angst, mit Fukushima. Wie viel radioaktives Material ist jetzt im Wasser? Sie haben gesagt

es sind noch viele Tonnen ins Wasser gekommen und die haben das jetzt erst bemerkt.

Wuhuu hoppla!

INT65 : Ja, ja.

S65 : Und ich frage mich: Wie viel Radioaktivität ist schon im Wasser? Wie viele Fische nehmen das auf? Wie viele Fische kriegen Mutationen? Wie viele Menschen haben diese Fische schon gegessen, die radioaktiv verseucht sind?

INT66 : Ja.

S66 : Es kommt alles wieder bei uns an. Wir können nicht sagen, das hat nichts mit und zu tun. Wenn wir im Wasser schwimmen, wenn wir den Fisch essen oder irgendwas aus dem Meer.

INT67 : Okay.

S67 : Nori kommt aus dem Meer.

INT68 : mhmm.

S68 : Fische kommen aus dem Meer. Alles mögliche, was wir essen... Es hat ganz viel mit uns zu tun. Und wenn wieder Wolken entstehen vom Wasser und das übers Festland kommt und regnet, dann haben wir das im Grundwasser.

INT69 : Okay, jaja, okay.

S69 : Deshalb...

INT70 : So der Grund von deiner Meinung ist... (...)

S70 : Wir vergiften uns selber.

INT71 : Selber? Ach so.

S71 : Wir vergiften uns selber, wenn wir das machen. Weil irgendwann, irgendwo kommt die Radioaktivität raus und wir haben nicht genug Platz, um so viel Müll... alle Leute streiten darüber, welcher Müll wo hingestellt wird. Weil niemand den Müll haben will.

INT72 : Okay.

S72 : Ich bin dafür, wenn die Leute, ähm für das AKW sind, dann sollen sie erstens in der Nähe davon wohnen. Wenn es irgendwann kaputt geht, werden sie es merken.

INT73 : Ja.

S73 : Und auch diese Endlagerstätten, dann sollen sie da jeder zu hause so eine Endlagerstätte haben. Da wissen wir, wo wir den Atommüll hin packen müssen. Mal ganz ehrlich!

INT74: Okay.

S74 : Niemand will ihn haben und das hat einen Grund. Wenn es nicht schädlich wäre und kein Problem wäre, dann ja...

INT75 : Alles klar.

S75 : Aber ich denke, wie gesagt, Politik ist ein wichtiger Faktor, weil die Politik die Eltern beeinflusst hat und die Eltern haben die Kinder beeinflusst oder die Politik hat die Menschen beeinflusst. Politik und Eltern sind, glaube ich, sehr große Faktoren.

INT76 : Ja

S76 : Viele, deren Eltern gesagt haben: Oah AKW, kein Problem.

INT77 : Ja

S77 : Da haben die Kinder dann auch gesagt: Ja, was ihr erzählt, dass es ein Problem ist, das stimmt gar nicht. Meine Eltern haben das gesagt. Und sie glauben das.

INT78 : Und so jetzt sprichst du oft mit dem... deine Familie, oder Eltern über AKW?

S78 : Nein.

INT79 : Nein?!

S79 : Nicht wirklich. Nur wenn irgendetwas passiert oder sie neue Nachrichten bringen, über Fukushima, was Neues passiert ist usw.

INT80 : So, das heißt als du Kind war, haben nur deine Eltern sage, sage, sagen, dann du hast nur hören darüber.

S80 : Und wie gesagt, ich habe viele Dokumentationen gesehen.

INT81 : Jaja

S81 : Wie viele Probleme es gibt und nach Fukushima habe ich mich auch viel... sie haben auch viele Sendungen gebracht, im Fernsehen. Die erklärt usw. und sogar die Politik hat sich geändert, sogar Angela Merkel hat auf einmal gesagt: Mhm, okay, wir ändern das. Und davor hatte sie nichts gegen Atomkraftwerke.

INT82 : Ach so.

S82 : Mhm, so weit ich weiß, nicht. Davor war Angela Merkel für Atomkraftwerke und nach Fukushima dagegen.

INT83 : Dagegen, hmm. Und du bist immer, immer gegen? Ah... Aber diese Meinung...diese Meinung ganz stark... stark als vor dem Fukushima?

S83 : Na, ich denke, es ist, wie wenn wir... ich kann auch Gift trinken oder ich kann...oder ich kann auch Zigaretten rauchen. Ich kann ganz viele Zigaretten rauchen und mich damit selber töten. Aber ich muss es auch nicht machen. Und ich denke, dass ist sehr schädlich, für die Umwelt, für... Weil es ist nicht nur, dass man sagen kann: wir machen das in irgendwelche Fässer und stellen das zur Seite. Egal wo es steht, es ist nur gefährlich, wenn wir es aufmachen, aber es ist immer gefährlich.

INT84 : Okay.

S84 : Sie müssen es in irgendwelche Berge rein stellen.

INT85 : Ja

S85 : Orte finden, wo es ungefährlich ist und... und das kann keine Zukunft sein.

INT86 : Okay. Alles klar. So...

S86 : Ich hoffe, ich konnte dir ein bisschen helfen und habe nicht zu viel erzählt.

INT87 : Doch jetzt okay, ja. So, dann ich danke Ihnen sehr für Ihre Kooperation.

S87 : Es war mir eine Ehre.

INT88 : Vielen Dank.

### 【インタビュー2A】

INT1 : So. Die Daten werden ausschließlich für meine Abschlussarbeit verwendet und nicht weitergegeben.

A1 : Ok

INT2 : Kann ich dieses Interview aufnehmen?

A2 : Ja.

INT3 : Zuerst stelle ich Ihnen einige Fragen. Dann anschließend erzähle ich Ihnen von meiner Abschlussarbeit für die ich das Interview gemacht habe.

A3 : Ok.

INT4 : Und dann Ok so **Frage 1. Bist du für die Erzeugung von Strom aus Atomkraft oder dagegen?**

A4 : Eher dagegen.

INT5 : Eher dagegen. Ok. So **Was ist der Grund? Wieso denkst du so?**

A5 : Weil es so unsicher ist und gefährlich. Also wenn alles sicher ist und alles funktioniert finde ich es sehr gut. Aber dadurch, dass das alles noch nicht so sicher ist bin ich eher dagegen.

INT6 : Das heißt, wenn es sicher ist, bist du für AKW?

A6 : Ja.

INT7 : Aber was ist Nachteil und Vorteil von AKW?

A7 : Die Ergiebigkeit ist sehr gut.

INT8 : Was ist das (Ergiebigkeit)?

A8 : Die Erzeugnisse, also das Ergebnis ist sehr gut. Wenn es keine Probleme damit gibt, ist es in Ordnung. Aber es da es halt so viele Probleme gibt, natürlich nicht.

INT9 : Aber denkst du in Zukunft alle gefährlich weg lassen kann? Oder...

A9 : Wenn es irgendwann ungefährlich ist, finde ich es in Ordnung.

INT10 : Ok. **Frage 2. Woher hast du deine Informationen zum Thema Atomenergie / Atomkraftwerke?**

A10 : Fernsehen, Internet, natürlich. Manchmal hört man auch im Radio was und in der Schule habe ich natürlich auch noch viel gelernt gehabt.

INT11: Zum Beispiele deine Familie oder Freunde

A11 : Ja, da redet man natürlich auch darüber.

INT12 : Ich denke Fernsehen, Internet, Radio, in der Schule alle gegen AKW?

A12 : Meistens, ja.

INT13 : Okay. **(Frage 2.2) Welche Informationsquelle ist am wichtigsten für dich?**

A13 : Ich würde sagen das Internet, weil das viele Seite halt zeigen kann. Also...Da ist es halt nicht nur eine Meinung, sondern man kann halt mehrere Meinungen auch nachlesen.

INT14 : Okay **(Frage 2.3) Denkst du, du wirst durch Medien einseitig beeinflusst?**

A14 : Bisschen ja.

INT15 : Okay. **(Frage 2.4) Warum denkst du, dass du durch diese Medien beeinflusst?**

A15 : Weil sie mir eine Meinung präsentieren und selten halt wirklich auch die Gegenseite, also es wird halt auch nicht immer alles erzählt und dadurch ist es schon starke Beeinflussung.

INT16 : Ok so ich erkläre jetzt über meine Abschlussarbeit. Mein Thema ist vergleichen und analysieren von Medien und ich muss zuerst mal muss ich eine deutsche Zeitung lesen. Ich denke alle Medien von Deutsche sind gegen AKW. Aber davor vor einem Jahre, als ich in Deutschland war, habe ich mit ein paar deutsche Freunde darüber diskutiert, ein paar Freund war für AKW. So, ich habe nachgedacht, Medien und Meinung von Bevölkerung ist ein bisschen Unterschied. Ich denke Meiden soll zeigen Meinung von Bevölkerung. aber es ist ein bisschen Unterschied und ich denke nicht so gut, denke ich. deshalb ja mache ich Interview mit Deutsche. Aber denkst du alle Medien gegen oder ist es ganz groß?

A16 : Also ich würde schon sagen, das fast alle gegen AKW sind. Und, aber wie gesagt, wenn man halt... wenn man irgendwann den Punkt erreicht, wenn es sicher ist habe ich halt nichts dagegen. Aber Natürliche, also, ist natürlich hier Windkraftwerk und da ist halt alles auch schön und gut. Und aber ist natürlich anderes Verhältnis, also man braucht, jetzt weiß ich nicht wie viele hunderttausende von Windkraftwerken und das ist natürlich auch ein großer Kostenfaktor, da ist halt das AKW halt ein großes Gebäude, sag ich jetzt einfach mal und wenn es halt sicher ist, dann finde ich es nicht so schlimm.

INT17 : Okay. okay okay. **Denkst du wenn Medien für AKW ist, bist du für AKW oder...**

A17 : Ich will meine Meinung nicht abhängig von den Medien machen. Also es sind halt immer unterschiedliche Meinungen, also ich versuche mir meine eigene Bildung durch viele Sichtweisen.

INT18 : Okay.

A18 : Ich will nicht sagen, dass AKW von Natur auch schlecht ist, weil die Idee dahinter ist ja wirklich, Energie zu erzeugen und es ist ja nicht schlecht im Grunde genommen. Es ist nur das Problem, dass man halt das noch nicht genug umsetzen kann.

INT19 : Mhhmm. ja.

A19 : Die Medien machen das meistens immer schlecht. also wegen den Problemen, natürlich, sind ja auch natürlich sehr schlecht, aber es wird immer sehr einseitig, finde ich, dargestellt.

INT20 : Okay, okay ja alles klar. **Aber als du Kinder war, hast du mit deinem Familie darüber sprechen oder deine Familie sage dir über AKW oder so.**

A20 : Ja. als ich kleiner war, haben wir auch öfters darüber geredet. Da fand ich es auch noch nicht so gut. Weil ich halt meistens die Meinung halt von meinen Eltern hatte. Und habe gedacht, okay, so ist es.

INT21: So deine Familie gegen AKW?

A21 : Meine Familie ist gegen, ja, ich denke.

INT22 : Ist das vor dem FUKUSHIMA?

A22 : Das war vor, vor FUKUSHIMA.

INT23 : Ok. Alles Klar. vielen Dank.

A23 : Kein Problem.

INT24: Ich danke Ihnen deine Kooperation.

A24 : für Kooperation.

INT25: Danke.

### 【インタビュー3B】

INT1 : では始めます。 auf Deutsch.

B1 : はい。

INT2 : So. Die Daten werden ausschließlich für meine Abschlussarbeit verwendet und nicht weitergegeben.

B2 : Ok.

INT3 : Und kann ich dieses Interview aufnehmen?

B3 : Ja.

INT4 : Vielen Dank. Und zuerst stelle ich Ihnen einige Fragen. Dann anschließend erzähle ich Ihnen von meiner Abschlussarbeit, für die ich das Interview gemacht habe.

B4 : Ok.

INT5 : **Dann Frage 1. Bist du für die Erzeugung von Strom aus Atomkraft oder dagegen?**

B5 : Eher dagegen.

INT6 : Ok. **Weshalb denkst du so?** Bitte, ja... Was ist der Grund?

B6 : Ich denke, dass Atomstrom zwar der günstigste Strom ist und vielleicht am einfachsten zu machen, momentan. Aber ich glaube, dass einfach in Zukunft, also für unsere Zukunft es besser ist, nicht Atomstrom zu verwenden, weil es die Gefahr durch Unfälle gibt. Und der Radioaktive Müll schwer zu entsorgen ist. Es bleibt einfach lange gefährlich. Und ich glaube, wenn man jetzt in erneuerbare Energien investiert, dann kann man es wirklich schaffen, dass man komplett keine Atomenergie mehr braucht.

INT7 : So aber .... das heißt, es ist Möglichkeit, dass alle Strom aus erneuerbare Energie in Deutschland?

B7 : Ich glaube, in Deutschland es ist schwierig. Aber es ist machbar.

INT8 : Machbar heißt?

B8 : Möglich.

INT9 : Okay okay. Und **Frage 2.1) Woher hast du deine Informationen zum Thema Atomenergie?**

B9 : Atomenergie. Ohhh... Aus verschiedenen Quellen. Als ich das erste Mal... das erste Mal habe ich davon gehört, als ich ein Kind war, es gibt eine Sendung für Kinder, die heißt „Die Sendung mit der Maus“. Und sie erklärt viele Sachen. Und da war eine Sendung über Atomenergie und sie haben auch die Gefahren erklärt und den Atommüll und ansonsten lernt man im Chemie Unterricht, wie lange es dauert, bis radioaktive Stoffe zerfallen.

INT10 : Aber so das heißt, alle Chemie Unterricht oder Sendung alle waren gegen AKW? Diese Inhalt?

B10 : Nein, es waren nur Informationen. Es war keine Meinung darin.

INT11 : Einfach alle Sache erklären?

B11 : Ja, einfach nur erklärt.

INT12: **(Frage 2.2) Welche Informationsquelle ist am wichtigsten für dich?** Medien oder Radio oder Internet oder.

B12 : Ich glaube Internet, weil es viele Meinungen gibt und dann kann man seine eigene Meinung finden.

INT13 : Ja ja genau. Und **(Frage 2.3) Denkst du, du wirst durch Medien einseitig beeinflusst?**

B13 : Ja, ich glaube schon.

INT14 : Ok. Aber **(Frage 2.4) Warum denkst du, dass du durch diese Medien beeinflusst?**

B14 : Ich habe es gemerkt, als der Unfall in Fukushima war. Dann am Unterschied zwischen der Reaktion von Japanern und von Deutschen. Ganz viele Japaner waren sehr entspannt und haben sich keine Sorgen gemacht. Und alle Deutschen hatten Panik, weil die deutschen Medien immer erzählt haben, es ist so gefährlich und jetzt passiert das und das und es ist alles schrecklich und viele Deutsche dachten, jetzt ist ganz Japan kaputt.

INT15 : Ist das Tsunami oder welcher...

B15 : Das Atomkraftwerk in Fukushima.

INT16 : Ist es bomb... a

B16 : Das ist 爆発. Es ist explodiert. Es gab auch viele Freunde, die haben zu mir gesagt, geh nicht nach Japan. Es ist ganz Gefährlich. Aber wenn man dann wirklich schaut, wo es gefährlich ist, dann sieht man, das meiste ist in Ordnung in Japan. Aber viele Deutsche haben durch die Medien den Eindruck bekommen, dass ganz Japan radioaktiv verseucht ist. Ganz Japan ist 有害.

INT17 : Ja, aber okay. Natürlich... aber alle Deutsche wie sagt man trauen Medien? Ist es alle Japan! nicht Unmöglichkeiten, ne. Natürliche eine Land ist nicht so einfach kaputt .... gehen

B17 : das stimmt, das stimmt.

IMT18 : Trotzdem **viele Deutsche vertrauen?**

B18 : Ja, viele vertrauen den Medien sehr stark. Es gibt einige, die trauen den Medien nicht und deswegen gucken sie gar nicht Fernsehen. Aber ich glaube viele sind sehr gutgläubig, sehr naiv.

INT19 : So als du Kind war, hast du mit den Familie oder Freunde darüber diskutiert?

B19 : Als Kind nicht.

INT20 : Gar nicht?

B20 : Nein.

INT21 : Okay.

B21 : Als ich Kind, habe ich so etwas nicht verstanden, glaube ich.

INT22 : Zum Beispiel, ummm, eine Freunde von mir sagt mir, als sie Kind war, immer immer seine Eltern hat sich sagen, Atomkraftwerk es gibt sehr gefährlich ist oder so. Ist es passiert?

B22 : Ahhh. Ich glaube, meine Eltern haben gesagt, dass Atomkraft gut ist, also dass es nicht schlimm ist.

INT23 : Aber deine Meinung ist gegen AKW?

B23 : Ja.

INT24 : Ist es vor Fukushima auch gleich?

B24 : Ja.

INT25 : So aber schon alle Informationen kommt aus Internet? Dann alle Vorteil und Nachteil lesen, dann deine Meinung ist gegen AKW?

B25 : Ja. Ich finde sie ist jetzt nichts so schrecklich, die Atomkraftwerke, aber ich glaube ein langsamer Ausstieg ist gut, wie es die Bundesregierung jetzt macht.

INT26 : Ok. so jetzt erkläre ich mein Abschluss Arbeit. Und ich studiere jetzt "Vergleich und Analyse von Medien " an der Uni. Das Thema von meine Abschlussarbeit ist "japanische und deutsche Vergleichen zwischen die Zeitung und die öffentliche Meinung über AKW". Und in Japan habe ich ganz viele Deutsche Zeitung gelesen. Aber ich denke alle, fast alle deutschen Zeitungen sind gegen AKW. Aber als ich in Berlin war, habe ich mit ein paar Freund über AKW diskutiert oder gesprochen. Und ein paar Deutsche sind für AKW. Dann das heißt, ich denke, Medien zeigt... Medien soll alle deutsche Meinung zeigen. Aber deutsche Medien alle gegen (AKW). Trotzdem, ein paar Deutsche ist für AKW. So für mich ist es ein Problem oder ein bisschen komisch. Deshalb habe ich jetzt viele mit deutsche Freunde Interview machen. **Denkst du, alle deutschen Zeitungen gegen AKW sind?**

B27 : Ich denke, meistens schon. Manchmal gibt es Zeiten, da ist eine bestimmte Meinung cool oder Mainstream und alle Zeitungen haben diese Meinung und machen dadurch auch die Meinung, beeinflussen dadurch die Meinung der Deutschen. Und deswegen gibt es momentan sehr wenige, die dagegen sind, gegen AKWs.

INT28 : Wegen Fukushima?

B28 : Zum Beispiel, ja. Wenn jetzt eine der Zeitungen dagegen wäre, dann würden alle sagen: Aber Fukushima und Tschernobyl und es ist so gefährlich. Also es ist auch ein gewisser, wie sagt man das, peer pressure, was war das auf Deutsch? Gruppenzwang!

INT29 : Was heißt das?

B29 : Das ist, wenn alle eine Meinung haben, kann einer nicht dagegen sein.

INT30 : Ok ok.

B30 : Er wird von den anderen gezwungen, er muss auch diese Meinung haben.

INT31 : Ja ja ja. So das heißt, Deutsche hat alle zusammen gleiche Meinung?

B31 : Ich glaube die Zeitungen machen alle... die haben alle dieselbe Meinung, ja.

INT32 : Trotzdem bist du gegen AKW. Das heißt, dass natürlich ...

B32 : Ja, ja. Weil ich es trotzdem gut finde. Ich mag zwar nicht, dass die Medien versuchen, Leute zu beeinflussen. Aber ich finde trotzdem, dass man langsam AKWs schließen sollte.

INT33 : Weil Unfall und radioaktiv und (Atom)Müll?

B33 : Ja.

INT34 : Ok. Alles klar. Aber einige... denkst du, alle deine Freunde sind gegen AKW oder ein paar Leute für AKW oder?

B34 : Ich glaube, die meisten sind dagegen. Aber es gibt einige Leute, die wollen AKWs behalten, weil der Strom sehr viel teurer werden wird. Wenn wir erneuerbare Energien verwenden und manches braucht auch sehr viel Platz.

INT35 : Ist es für AKW?

B35 : Erneuerbare Energien, Windräder. Dann hat man einen großen Park von Windrädern auf dem Meer und Leute mögen es nicht. Die sagen: „uähh viele Windräder, hässlich! Und das schöne Naturschutzgebiet...“ und so, „Geht alles kaputt, die Natur!“ Und es wird teurer, die Natur wird zugebaut mit Windrädern und Deutschland ist auch kein richtig guter Ort für erneuerbare Energien. Es ist nicht wirklich so viel Sonnenschein für Solarenergie. Na, Windenergie geht. Aber südländische Länder, wie zum Beispiel Spanien oder Marokko, wenn man da Solarenergie macht, das würde viel besser sein, als hier.

INT36 : OK

B36 : 日差しがあまりない。

INT37 : Ok

B37 : わかりましたか？

INT38 : Ja Ja, ok. Aber der Grund von deiner Meinung ist alles gefährlich, ne? Nicht, nicht unbedingt sicher ist.

B38 : Ja.

INT39 : Ok, alles klar.

B39 : Also ich glaube Unfälle sind selten aber der Müll ist ein Problem.

INT40 : ...

B40 : Niemand möchte den Müll und er bleibt so lange. Hundert Jahre und so.

INT41 : Aber denkst du, ist es komisch dass alle Medien gegen AKW ist? Ist das normal in Deutschland?

B41 : Ich glaube, es ist nicht komisch eben wegen Fukushima.

INT42 : Ok.

B42 : Ich glaube, vorher gab es noch mehr andere Meinungen, aber als Fukushima kam, haben alle gesagt: (Klatscht) Schnell, やめましょう。Wir müssen ganz schnell aufhören. Bevor so etwas bei uns passiert.

INT43 : Aber Fukushima ist, der Grund von Fukushima ist fast alle Erdbeben und Tsunami, ne?  
Aber ich denke Deutsche hat keine Tsunami und nicht so groß Erdbeben.

B43 : Ja.

INT44 : Trotzdem alle Deutsche gegen AKW?

B44 : Ich glaube es war eine große Panik, als der Unfall war.

INT45 : Ok.

B45 : Und eigentlich wollte Deutschland schon vorher Atomenergie... ja, mit Atomenergie aufhören, die AKWs schließen. Sie hatten schon diesen Plan aber dann kam Fukushima und dann haben sie gesagt so schnell wie möglich. はやくはやく。

INT46 : Aber (Frau) Merkel davor, aber (Frau) Merkel hat für AKW, oder?

B46 : Ich glaube.

INT47 : Ja, aber trotzdem...

B47 : Sie hatten Pläne aufzuhören. Ich muss es nachschauen, aber sie hatten den Plan, uns da haben sie jetzt ganz schnell alles versucht.

INT48 : Ja.

B48 : Ganz schnell das wirklich beenden zu können.

INT49 : Du hast mir gesagt Panik. Aber jetzt natürlich alle kennen schon der Grund von Fukushima ist der Tsunami.

B49 : Ja.

INT50 : Das heißt ich denke es ist, es passiert nicht so oft in Deutschland. trotzdem Deutschland, trotzdem gegen...

B50 : Ach.. ich glaube eben, weil viele andere Deutsche auch das Problem mit dem Müll sehen. Und es auch umweltfreundlicher finden, wenn man erneuerbare Energie nimmt. Es hat weniger, es hat weniger Risiko...

INT51 : Ok.

B51 : ...Wenn man erneuerbare Energie nimmt.

INT52 : Aber natürlich Atomenergie passiert nicht CO2. nicht so schön für ..

B53 : Ja, das stimmt. Ja, aber wenn ein Unfall passiert, oder wenn man den Müll ablagert... es ist gefährlich.

INT53 : Alles klar. Ok.

B53 : Und Deutsche sind generell sehr Bio-/ Öko- freundlich. Sie machen sehr viel möglichst alles schön sauber und die Natur schön.

INT54 : Ok alles klar. So Ich danke Ihnen sehr für Ihre Kooperation.

B54 : Bitte.

#### 【インタビュー4C】

INT1 : So. Die Daten werden ausschließlich für meine Abschlussarbeit verwendet und nicht weitergegeben.

C1 : Ok

INT2 : Kann ich dieses Interview aufnehmen?

C2 : Ja.

INT3 : Dankeschön. Und zuerst stelle ich Ihnen einige Fragen. Und dann Anschließend erzähle ich Ihnen von meiner Abschlussarbeit, für die ich das Interview gemacht habe.

C3 : Ok.

INT4 : Ok, so Interview, **Frage 1: Bist du für die Erzeugung von Strom aus Atomkraft oder dagegen?**

C4 : Also dagegen. Also warum, oder? Warum auch, oder?

INT5 : Ja, (**Frage 1.2**) warum auch.

C5 : Also ich denke einfach, dass es eine Kraft ist, die ein Mensch nicht kontrollieren kann. So wenn man vielleicht noch weiter forschen würde und es irgendwann wirklich sicher wäre, dann dürfte man es benutzen. Aber nicht davor.

INT6 : Ok und (**Frage 2.1**) Woher hast du deine Informationen zum Thema Atomenergie?

C6 : Also erst mal von meinem Bruder, der da sehr engagiert (**ängersiert**) ist. Dann natürlich aus den Zeitungen, den Medien. Und da, wo ich herkomme, aus Brandenburg, wir haben viele Windräder, Windkraftanlagen, und alternative Energien, deswegen ist eigentlich jeder gegen Atomkraft, einfach weil wir andere Energien haben, saubere Energien haben.

INT7 : OK, so das heißt kannst du alle Strom aus erneuerbare Energie machen oder bekommen? Das heißt, ich denke alle, ich denke alle... **alle Strom aus erneuerbare Energie ist ein bisschen schwer, oder wie denkst du? Alle möglich oder?**

C7 : Es ist sehr schwer. Die Speicherung ist schwer, also an windigen Tage kann man zwar Strom erzeugen, aber man kann ihn ja für Tage an denen kein Wind bläst, immer noch nicht speichern.

INT8 : Ok.

C8 : Das müsste man erst mal... Also das müsste man auf jeden Fall weiter forschen, meiner Meinung nach. Aber in Brandenburg ist es immer sehr windig, deswegen ist es für uns wirklich kein Problem.

INT9 : Ok, ach so. Speicher? Diese? Wie kann man das schreiben?

C9 : Speicher

INT10 : Wie kann man das schreiben?

C10 : Das ist schon so richtig.

INT11: Danke und **(Frage 2.2) Welche Informationsquelle ist am wichtigsten für dich?**

C11 : Am wichtigsten? Um, ich würde sagen, die Zeitung.

INT12: Zeitung, ok.

C12 : Im Internet steht war auch (ei)ne Menge, aber im Internet kann ja jeder schreiben, was er möchte.

INT13 : **(Frage 2.3) Denkst du, du wirst durch Medien einseitig beeinflusst?**

C13 : Umm schon. Also nachdem das in Fukushima passiert ist, da waren die Medien schon sehr einseitig, was Atomkraft anging. Inzwischen gibt es auch wieder Medien, die sagen, dass es vielleicht doch nicht so schlecht wäre, wenn wir es noch ein paar Jahre weiter machen würden. Aber nach Fukushima war wirklich alles: nein, wir müssen da weg, Atomkraft ist blöd.

INT14 : Ok ich verstehe. "schon" heißt so ja, oder?

C14 : Ja.

INT15 : So, okay **(Frage 2.4) warum denkst du, dass du durch diese Medien beeinflusst?**

C15 : Also... Also eigentlich ist es ja egal, was man liest. Man wird ja immer so (ein) bisschen davon beeinflusst. Und wenn man dann sone Sachen hat, wie Berichterstattungen über Fukushima (hat), dann ist es ganz klar, dass man irgendwann so unterschwellig diese... dies negative Stimmung irgendwie aufnimmt. Also sogar meine Mutter, die wirklich kein Interesse an diesen Themen hat, war danach so: ahh Atomkraft ist vielleicht doch nicht so gut...

INT16 : ok. ok

C16 : Also ich glaube auch, Medien sind dazu da, Leute zu beeinflussen. Wirklich neutrale Berichterstattung gibt's nie.

INT17 : Nee, ja. Ok ok. So, ich jetzt... jetzt erkläre über meine Abschlussarbeit. Ich studiere jetzt "Vergleich und Analyse von Medien" an der Uni. Und das Thema von meine Abschlussarbeit ist "japanische und deutsche Vergleichen zwischen die Zeitung und die öffentliche Meinung über AKW". Das heißt, als ich in Berlin war, habe ich viele viele deutsche Zeitung gelesen, aber fast alle oder alle Zeitung sind gegen AKW. Aber als ich in Berlin war, habe ich mit ein paar Freund darüber diskutiert, und ein paar Deutsche sind für AKW. Aber ich denke Medien alle Meinung von Bevölkerung zeigen. Ein bisschen Problem oder ein bisschen komisch für mich. Deshalb muss ich mit Deutsche Interview machen, dann ist das, wie sagt man, echt Medien alle Meinung zeigen oder nicht, möchte ich forschen. **Denkst du, alle deutsche Meinung sind gegen AKW sind?**

C17 : Also alle definitiv nicht, aber ich würde sagen, der Großteil. Also unsere, wie sagen...okay... Öko- Bewegung, also Leute die Bio-Essen essen und auf alternative Energie achten, die sind im Vergleich zu Japan ja wirklich sehr hoch. Und deswegen glaube schon, dass der Großteil dafür ist. Die Leute, die wahrscheinlich in der Wirtschaft arbeiten, die werden dagegen sein, also der kleine Bürger, nehme ich (ein)mal an, der so ein bisschen Zeitungen liest, der wird, glaube ich, dafür sein.

INT18 : ok.

C18 : Auch wenn die Strompreise dann höher werden, da sind ja alle dagegen.

INT19 : Aber ich denke wenn du Zeitung lese, **alle Inhalt von Medien ist gegen AKW, oder? Fast alle, oder?**

C19 : Jaa. Schon. Also vor allem, die Zeitungen, also es gibt... kennst du den Focus?

INT20 : Ja.

C20 : Ja, die Zeitung ist eher konservativ. Und ist nah an der CDU daran, die haben jetzt auch ganz viel CDU-Wahlwerbung immer in den Ausgaben und die unterstützen natürlich Frau Merkel. Das ist ganz klar. Aber wenn du zum Beispiel den Spiegel liest, der ist teilweise schon bisschen kritischer. Einfach weil der nicht so konservativ ist. Also man muss dann immer darauf achten, welches Medium man liest.

INT21 : Ach so, das heißt, jeder Medien andere Meinung, zum Beispiel diese Medien für oder diese Medien ist gegen oder so?

C21 : Also ich glaube, dagegen sind erst (ein)mal alle. Das ist so ein Konsens, aber der Focus ist Wirtschaftsorientiert und konservativ, das heißt er beleuchtet eher ähm, das was die Politiker

auch hören wollen, sage ich mal. Und den Spiegel ist eher kritischer, hinterfragt und hat manchmal auch Artikel, die ein bisschen unangenehmen sind für Frau Merkel. Und ich glaube, die sind einfach Regierungskritischer und deswegen auch kritischer gegenüber diesem Atomausstieg. Also weil da gibt es ja noch tausend ungeklärte Fragen, wie das alles funktioniert soll.

INT22 : Ach so, Ok. Ja, alles klar. Und **zum Beispiel als du Kind war, hast du mit dein Familie darüber diskutiert oder deine Eltern hat dir etwas gesagt?**

C22 : Meistens mit meinem Bruder.

INT23 : Aber Bruder hat dir alle gegen, dein Bruder ist gegen AKW oder dafür?

C23 : Mein Bruder ist dagegen, war er schon immer. Wäre ich jetzt dafür würde er auch nicht... also es ist nicht sein Interesse, dass ich dagegen bin. Aber er war halt immer so: du musst alles kritisch hinter denken und dir deine eigene Meinung bilden. Und ich bin zu dem Schluss gekommen, dass es nicht gut ist, auch wegen dieser Müllfrage.

INT24 : Ok, ja.

C24 : Was sie die Zeitung überhaupt gar nicht so abarbeiten, meiner Meinung nach.

INT25 : Ok. Aber woher hast du eine Nachteil? Merit? Nein, Vorteil von AKW Informationen bekommen?

C25 : Also wir hatten in der Schule Biologie Unterricht und Politik Unterricht und da hatten wir (ein)mal die verschiedene Energieformen, die es gibt und dann halt Vor- und Nachteile. Und Vorteil bei der Atomenergie sind ganz klar, dass sie sauber ist, also es entstehen ja keine Schadstoffe, kein CO2. Nachteil ist natürlich der Müll. Vorteil ist, dass es nicht wirklich Platz wegnimmt. Also es gibt schon Vorteile, die kennen die Menschen auch, aber wenn man wirklich (ein)mal so (ei)ne Liste macht, dann sind die Nachteile viel höher als die Vorteile.

INT26 : Ok.

C26 : Also es ist jetzt nicht so, dass deutsche Kinder so erzogen werden, dass es ganz schlecht ist. Die kennen auch die Vorteile. Es wird im Unterricht so schon alles abgehandelt, auch Windkraft: Vor- und Nachteile, Sonne: Vor- und Nachteile.

INT27 : Aber alle Deutsche kennen darüber...

C27 : Das hat man meistens, ja.

INT28 : Jeder Deutsche hat seine einige Meinung und alle fast alle Deutsche gegen AKW, ne?

C28 : Das ist zumindest so in meinem Umfeld.

INT29 : Am größten der Grund von deine Meinung ist der Müll?!

C29 : Der Müll und natürlich nach Fukushima: Was passiert, wenn wir mal (ei)nen Unfall haben. Also 1986 waren ja schon alle relativ ängstlich wegen Tschernobyl. 86, 85, 86? 86, glaube ich. Ähm, Tschernobyl da hatten ja schon alle Angst. Und Fukushima ist ja noch ein bisschen größer gewesen, der Unfall. Deswegen hatte man dann einfach Angst, was passiert wenn bei uns mal ausversehen ein Flugzeug abstürzt und stürzt da rein. Was passiert dann? also sone Ängste gibt es dann natürlich auch. aber der Müll ist natürlich immer der Hauptgrund.

INT30 : Ok, ja, aber ich denke in Fukushima ...der Grund von Fukushima ist Tsunami und 地震 Erdbeben, ne. Aber in Deutschland gibt es keine Tsunami und fast nie Erdbeben, oder?

C30 : Unten in Nordrhein-Westfalen gibt es auch Erdbeben. Aber die werden nicht stärker als „zwei“.

INT31 : Ja, das heißtt, man kann nicht einfach sagen, ganz gleiche Situation.

C31 : Nee, aber Tschernobyl war es ja zum Beispiel menschliches Versagen. Also Menschen sind ja nicht perfekt und Deutsche sind auch nicht perfekt. Das heißtt, das könnte da auch (ein)mal einfach sein, dass irgendwer irgendetwas falsch macht.

INT32 : ok ok ok.

C32 : Und wenn man zum Beispiel an einer Solaranlage irgendetwas falsch macht, dann hat man nicht so große Nachteile, wie die Atomkraftwerke halt eben.

INT33 : Ok, ich versteh. aber ich denke jetzt Stromgebühr ist höher werden, oder?

C33 : Ein bisschen? Sehr hoch!

INT34 : Aber deshalb habe ich eine Artikel gelesen und **ein paar Deutsche für AKW weil der Stromgebühr hoch ist. Was denkst du darüber?**

C34 : Also ja, Keiner bezahlt gerne hohe Stromgebühren. Ich finde aber, das ist eben etwas, das wir tun müssen. Weil wirklich diesen Atomausstieg wollen. Das einzige, was ich bemängeln würde ist, dass die Strompreise, werden wieder an den einfachen Bürger abgeleitet. Das heißtt, die großen Konzerne, Mercedes und so, die müssen alle nicht diese hohen Strompreise bezahlen. Das wird umgeleitet und das ist das Unfaire. Also, das wird wieder zu Lasten der kleinen Leute, quasi, gemacht. Und darüber regen sie sich dann auf. Die Leute, die nicht eine allzu gute Bildung haben, die sind dann natürlich gleich wieder: nein! Dann wollen wir wieder Atomkraft! Obwohl sie eigentlich gar nicht wirklich nachdenken, ob es nicht die Schuld von der Atomkraft ist sondern, dass es falsch umgeleitet wird.

INT35 : Ok. Interessant. **Aber denkst du nicht komisch, dass ein paar Medien nicht für AKW ist?** Ich denke normalerweise meiner Meinung nach alle Meinung jeder Meinung hat natürlich eigene Meinung aber es war sehr komisch. Alle Meinung, alle Medien sind gegen AKW ist. Und ich habe nichts gefunden, das dafür AKW.

C35 : umm, naja, man muss, glaube ich, auch immer beachten, dass die Zeitungen auch Umsätze wollen. Und dass man sich immer ein bisschen danach richten möchte, was der Leser auch lesen möchte und welche Meinung der Leser hat. Ich glaube, wenn es so richtig ...keine Ahnung... Zum Beispiel Wirtschaftszeitungen, das Handelsblatt oder so, ich glaube, die haben teilweise auch Artikel, dass Atomkraft gar nicht mal so schlecht ist. Einfach weil sie an... sich an die wirtschaftliche Klientel richten.

INT36 : ok

C36 : Ja, könnte ich mir zumindest vorstellen. Ich lese das Handelsblatt nicht, aber...

INT37 : OK.

C37 : Also ich weiß nur, wir mussten für die ICU eine Debatte machen, über Atomkraft. Und wir müssen für AKW argumentieren. Und ich habe im Internet schon einige Zeitungsartikel gefunden, auf Deutsch, die pro Atomkraft waren, ja.

INT38 : Echt? ok. Alles klar. Ich danke Ihnen sehr für Ihre Kooperation. Danke schön.

## 【インタビュー5D】

INT1 : Die Daten werden ausschließlich für meine Abschlussarbeit verwendet und nicht weitergegeben.

D1 : うん。

INT2 : Kann ich dieses Interview aufnehmen?

D2 : Ja. Ja.

INT3 : Danke. Und zuerst stelle ich Ihnen einige Fragen. Dann Anschließend erzähle ich Ihnen von meiner Abschlussarbeit für die ich das Interview gemacht habe.

D3 : Ok.

### INT4 : **Frage 1. Bist du für die Erzeugung von Strom aus Atomkraft oder dagegen?**

D4 : Ich denke, dass es darauf ankommt, wo man die Energie erzeugt.

INT5 : Ok.

D5 : Also zum Beispiel bin ich dagegen, dass man es in Japan tut, weil die natürlichen Gegebenheiten dagegen sprechen. Also zum Beispiel Erdbeben. In Deutschland denke ich, dass Atomenergie eine Brücken-Technologie ist, die man auslaufen lassen sollte. Aber man muss nicht sofort eine Memoratorium(猶予期間、原発モラトリアムとは、その期間に推進派から絶対反対派までが大討論の場をつくって、原発をどうすべきか、とことん話し合おうというものである。) einsetzen. Man kann es langsam auslaufen lassen. Bis man neue Energie entwickelt hat.

INT6 : Das heißt, langsam langsam.

D6 : Genau. 再生エネルギーはまだまだなんだけど、だからまだ必要だと思います。原発を。

INT7 : Ok. (**Frage 1.2**) Weshalb denkst du so?

D7 : Weil ich denke, dass man mit der Erneuerbaren Energie noch nicht weit genug ist, in der Entwicklung. deswegen brauch man Atomenergie als Brücken- Technologie.

INT8 : (**Frage 2.1**) Woher hast du deine Informationen zum Thema Atomenergie?

D8 : Aus Zeitungen. Ich lese jeden Tag Frankfurt Allgemeine (Zeitung). und interessiere mich für das Thema. Und ich habe ein Seminar mal belegt, an der FU.

INT9 : Ok. (**Frage 2.2**) Welche Informationsquelle ist am wichtigsten für dich?

D9 : Allgemein oder zum Thema?

INT10 : Zum Thema.

D10 : Schon Tageszeitung.

INT11 : Ok. (**Frage 2.3**) Denkst du, du wirst durch Medien einseitig beeinflusst?

D11 : Ich versuche verschiedene Medien zu lesen. Also nicht nur eine Zeitung, mehrere und denke, dass ich deswegen ein sehr differenziertes Bild habe.

INT12 : OK. Aber ich denke alle fast alle deutsche Zeitung sind gegen AKW, oder? fast alle.

D12 : Es gibt auch Zeitungen, die sich, die unentschieden sind, also die nicht meinungsbildend sind. Die sagen: das spricht dafür, das spricht dagegen.

INT13 : Ok. so zum Beispiel welcher Zeitung ist für AKW?

D13 : Es gibt ja (k)eine Zeitung, die jetzt definitiv für Atomenergie ist. Aber es gibt Zeitungen, wie zum Beispiel die Frankfurter Allgemeine oder der Focus, das ist eine Zeitschrift, keine Zeitung, die alles differenzierter sehen, die sagen es gibt auch die Möglichkeit, dass man das langsam auslaufen lässt oder, dass man das noch weiterlaufen lässt und dann gibt es natürlich auch auf der anderen Seite Zeitungen, wie die TAZ, die komplett dagegen sind.

INT14 : OK. Jetzt erkläre ich meine Abschlussarbeit. Ich studiere jetzt "Vergleich und Analyse von Medien " an der Uni. Das Thema von meiner Abschlussarbeit ist "japanische und deutsche Vergleichen zwischen die Zeitung und die öffentliche Meinung über AKW". Zum Beispiel vor einem Jahre habe ich viele deutsche Zeitung gelesen. Aber ich denke fast alle deutsche Zeitung sind gegen AKW. Aber, als ich in Berlin war, mit deutsche Freund darüber diskutiert. Ein paar Deutsche sind für AKW. dann ich denke es ist komisch, weil Medien sollen deutsche Meinung zeigen. aber ich denke fast alle deutsche Zeitung gegen AKW und **nicht passen oder?**

D14 : Ich denke dass Zeitungen, ja eigentlich meinungsbildend sind, sie geben Informationen aus denen die Leute sich ihre einige Meinung bilden. Und deswegen müssen die Zeitungen nicht

unbedingt die Meinung der Menschen widerspiegeln, weil sich die Menschen mit den objektiven Informationen aus der Zeitung ihre Subjektive Meinung bilden sollen.

INT15 : Das heißt....?

D15 : あの、その情報、一般的な情報は新聞に入ってるんですけど、人は新聞を読んで、その情報で自分の意見を作るみたい。だから。。。

INT16 : Ok ok. natürlich alle Deutsche kennen Vorteil und Nachteil von AKW?

D16 : Ich denke, dass die Menschen das sehr, sehr subjektiv sehen, das man,

INT17 : Was subjektiv?

D17 : Subjektiv....個人的な意見。

INT18 : **Zum Beispiel als du Kind war, hast mit Familie oder Bruder darüber gesprochen oder deine Eltern darüber zeigen oder sprechen?**

D18 : Ich glaube, wir haben nicht so viel darüber geredet. Ich habe das schon eher in der Zeitung gelesen oder mit Freunden diskutiert, nicht in der Familie. Oder im Unterricht. Wir haben in Deutschland so eine Art Gemeinschaftskunde 社会 und da haben wir auch über solche Sachen geredet. In der Schule...

INT19 : Ok. Aber normalerweise deine Lehre oder so alle gegen AKW oder einfach über AKW Informationen geben oder?

D19 : Ich denke dass die Mehrheit der Deutschen dagegen ist, auch in meinem Umfeld. Aber Lehre sollen ja objektiv bleiben, also haben sie nicht versucht uns überzeugen von, ihrer Meinung. Aber sie hatten schon... viele waren dagegen. Denke auch, dass die Mehrheit der Deutschen den AKWs kritischer gegenübersteht, als ich.

INT20 : Ok. **Denkst du fast alle Deutsche sind gegen AKW?**

D20 : Ich denke ja, viele.

INT21 : Ich denke jetzt Strom Preise ist ein bisschen höher werden, oder? Ich denke das heißt deshalb einige Personen möchte AKW in Deutschland. und ich habe eine Artikel gelesen.

D21 : Es kann sein, dass man sagt: kurzfristig, es ist besser die Atomkraftwerke zu benutzen, das ist ja auch meine Meinung. Aber langfristig gesehen, ich glaube, wenn man die Leute fragt, soll langfristig Atomenergie benutzt werden, werden die meisten sagen nein.

INT22 : Was ist langfristig?

D22 : Langfristig ist also langfristig heißt あと20年間とか30年間とか

INT23 : Ok.

D23 : kurzfristig はもう少し、近い将来、kurzfristig はもう少し、近い将来。例えば来年とか再来年。langfristigは10年間とか30年間。

INT24 : Wie man kann das schreiben?

D24 : LANGFRISTRIG. どこ? (パソコンの画面を見せて)

INT25 : こう?

D25 : そう。

INT26 : おつけ。danke. so das heißtt mehr neuerbare Energie....

D26 : Die erneuerbaren Energien brauchen Zeit, um sich zu entwickeln. Die Technologie, die Umsetzung, man muss Dinge bauen zum Beispiel Windmühlen und Offshore. Alles muss erst gebaut werden, das kann man noch nicht jetzt benutzen. Das heißtt im Moment investieren wir nur, wir können noch nicht die Energie ernten, so zu sagen. Und deswegen ist der Strompreis im Moment hoch.

INT27 : Aber **wieso denkst du erneuerbare Energie ist besser als AKW?**

D27 : Weil es natürlich sicherer ist. Und Atomkraft ist ja auch nicht unendlich. Man braucht dafür Plutonium, die Stoffe, die sind ja nicht unendlich auf der Erde verfügbar. Und wenn die alle sind dann braucht man ja was anderes und deswegen brauchen wir 再生エネルギー。

INT28 : Ok. Aber ich in Fukushima gibt es Tsunami und Erdbeben. Aber in Deutschland kein Tsunami und nicht so viel Erdbeben. normalerweise wenn die Technologie.. nicht so groß Probleme in Deutschland oder?

D28 : Es ist trotzdem gefährlich, also auf der einen Seite gibt es natürlich das Terror Problem, das wir im Moment haben.

INT29 : Terror?

D29 : Terror! Und auf der anderen Seite sind in Europa die Sicherheitsstandards ganz verschieden. Das heißtt es gibt in Frankreich ganz viele Atomkraftwerke, in Polen und wenn es da ein Problem gibt, dann sind wir auch betroffen in Deutschland. Das heißtt, das heißtt: ich bin, ich denke, dass die Atomenergie, man kann die nicht nur, wenn man sie abschafft, nur in Deutschland abschaffen. Man muss es in ganz Europa machen. Es ist ein europäisches Problem, weil wir eben so nah aneinander sind. Wir sind nicht, wie in Japan eine Insel sondern, wir sind eben ein Kontinent, ne? also...

INT30 : Das heißtt zum Beispiel das heißtt alle Europa zusammen denken oder so?

D30 : Man müsste auf jeden Fall eine gemeinsame Vision entwickeln, weil man hat ja auch... Europa ist relativ geografisch ausgestreckt. Das heißtt, wenn man jetzt zum Beispiel die Solarenergie hat, die kann man zum Beispiel im Süden besser benutzen, weil im Süden ist mehr Sonne. Und dann hat man, im Norden hat man die Meere da hat man... da kann man Offshore machen, das heißtt

wenn man sich zusammen tun würde, wäre es am effizientesten. Dann müsste man halt ein gemeinsames Leitungssystem bauen. Also 電線。

INT 31 : Ganzen Europa?

D31 : Genau. Das wäre auf jeden Fall eine große Herausforderung, aber langfristig gesehen, die beste Lösung.

INT32 : Ok Aber ich denke zum Beispiel wenn jetzt in Deutschland japanische Atomkraftwerk bauen, keine Unfall, oder? das heißtt, in Japan gibt es Erdbeben und Tsunami. aber in Deutschland keine nicht so viel.

D32 : Man kann es nicht ausschließen, leider.事故がないとは言い切れない。

INT33 : Ok.

D33 : Also, zumal die Sicherheitsstandards in anderen Ländern nicht so hoch sind. Wir können uns nicht darauf verlassen.

INT34 : Aber zum Beispiel **Strompreis höher oder Atomenergie, welcher ist wichtig für dich?**

D34 : Der Strompreis wird ja langfristig niedriger wenn man sagt, dass man die 再生エネルギー mehr effizient macht. Also effizienter macht. Deswegen sage ich, es ist langfristig gesehen wichtiger, die Atomkraft abzuschaffen. aber kurzfristig sollte man sie nutzen.

INT35 : Das heißtt zum erstmal hoch langsamer..

D35 : Ja.

INT36 : Ok Ja. Du hast ganz viele Informationen über AKW in Zeitung gelesen und dann Vorteil und Nachteil verstehen dann du hast einige Meinung?

D36 : Dann bilde ich mir meine Meinung, ja.

INT37 : Ok. Danke schön. Ich danke Ihnen sehr für Ihre Kooperation.

D37 : ok.

## 【インタビュー6E】

INT1 : So. Die Daten werden ausschließlich für meine Abschlussarbeit verwendet und nicht weitergegeben.

E1 : Ok.

INT2 : Kann ich dieses Interview aufnehmen?

E2 : Ja.

INT3 : Vielen Dank. Zuerst stelle ich Ihnen einige Fragen. Dann anschließend erzähle ich ihnen von meiner Abschlussarbeit für die ich das Interview gemacht habe.

E3 : Ok.

INT4 : **Frage 1. Bist du für die Erzeugung von Strom aus Atomkraft oder dagegen?**

E4 : Ich bin dagegen.

INT5 : **(Frage 1.2) Weshalb denkst du so?**

E5 : Da es schon viele Atomunglücke gab, also Tschernobyl früher, und neulich Fukushima.

INT6 : Also das heißt, weil es sehr gefährlich ist?

E6 : ja. Genau.

INT7 : **(Frage 2.1) Woher hast du deine Informationen zum Thema Atomenergie?**

E7 : Hauptsächlich aus den Nachrichten.

INT8 : Das heißt Zeitung oder Internet, oder ...?

E8 : Zeitung, Internet, Fernsehen.

INT9 : **(Frage 2.2) Welche Informationsquelle ist am wichtigsten für dich?**

E9 : Emm, am Wichtigsten für mir persönlich war das Internet, weil ich dort mehr Informationen hören konnte.

INT10 : Ok. **(Frage 2.3) Denkst du, du wirst durch Medien einseitig beeinflusst?**

E10 : Durch Fernsehen definitiv. Aber durch das Internet oder durch Bücher kann man sich halt mehrseitig informieren. Und sich eine eigene Meinung bilden.

INT11 : **(Frage 2.4) Warum denkst du, dass du durch diese Medien beeinflusst wirst?**

E11 : Weil im Fernsehen doch eine sehr kurze, strukturierte Information nur gegeben werden kann, es wird teilweise auch ein weitverbreiteter Irrglaube verbreitet, schon eine sehr starke Beeinflussung, auch durch Politiker.

INT12 : Das heißt Bücher haben mehr Einfluss als das Internet? Denkst du das?

E12 : Nein, Bücher nicht, aber das Fernsehen. Das Fernsehen und das Radio.

INT13 : Aber wieso nicht das Internet?

E13 : Das kommt darauf an, was du liest. Also ich finde, im Internet oder auch bei Büchern bin ich **selbst** dafür **verantwortlich**, was ich lese, und was ich darüber denke. Im Fernsehen sehen Alle nur das Gleiche, und das ist aber auch nur das Einzige. Im Fernsehen hat jetzt nicht andere Möglichkeiten, dass man jetzt umschaltet und **der** (ニュース Speaker 男) sagt was Anderes. Im Fernsehen sagen Alle genau das Gleiche. Das ist schon ein gewisser Einfluss, denke ich.

INT14 : Ok alles klar. **Hast du mit deiner Familie gesprochen oder diskutiert, als du noch ein Kind warst? Oder haben deine Eltern etwas erzählen?**

E14 : Nein, als Kind nicht. Erst jetzt, wenn man erwachsen wird und sich selbst darüber seine Meinung bilden kann.

INT15 : **Aber wie hast du diese Informationen bekommen?** In der Schule oder in der Uni oder im Radio oder?

E15 : Als Erstes hört man darüber natürlich in den Nachrichten und dann möchte ich mich aber nicht nur auf das verlassen, was ich in den Nachrichten höre, sondern ich möchte mehr wissen, und recherchiere dann noch mal Informationen im Internet quasie.

INT16 : Ok. Jetzt erkläre ich mein Abschlussarbeit. Ich studiere jetzt "Vergleich und Analyse von Medien " an der Uni. Und das Thema meiner Abschlussarbeit ist "Vergleich der Zeitungen und der öffentlichen Meinungen über AKW in Deutschland und Japan". **Das heißt zum Beispiel ich habe davor viele deutsche Zeitungen gelesen. Fast alle sind gegen AKW,** denke ich. oder?

E16 : Ja.

INT17 : Als ich in Berlin war, habe ich mit deutscher Freund darüber gesprochen. und ein paar deutsche sind für AKW. Aber ich denke, Medien sollen die öffentliche Meinung zeigen. Das ist für mich ein bisschen komisch. Deshalb forsche ich darüber. **Denkst du, dass alle Medien gegen AKW sind?**

E17 : Ich weiß es nicht. also ich kenne auch nicht wirklich alle Zeitungen zum Beispiel. aber ich glaube den Großteil. also es wurden ja auch Umfragen gestartet von den Fernsehsendern. Aber das ist ja auch nur ein kleiner Teil der Menschen, man weiß ja nicht, wie viele Leute wirklich angerufen haben. Deswegen weiß man in Deutschland nicht, wie viele Menschen sind gegen AKW oder sagen wirklich, ja wir möchten AKW.

INT18 : Wie war Ergebnis?

E18 : Es war das Ergebnis, zumindest in dieser Fernsehsendung, dass es mehr Leute gibt, die gegen AKW sind. Von daher wird es die Zeitung bestätigen, aber man weiß halt nicht, wie viele Leute wirklich daran teilgenommen haben. Und es kann trotzdem sein, die Leute, die angerufen haben waren halt wirklich dagegen. Vielleicht gibt es noch 100 andere Leute, die dagegen sind.

INT19: Achso.

E19 : Das ist das Problem halt. Auch im Internet; man wird nie komplett [repräsentativ] Deutschland erfassen können. Es wird immer Leute geben, die sich auch enthalten (やめる), oder... [nicht offen ihre Meinung sagen]

INT20 : **Hast du die Artikel, die für AKW sind, gelesen?**

E20 : Ich hab im Internet gelesen. Deshalb weiß ich es nicht mehr.

INT21 : Ok, aber natürlich kennst schon ...

E21 : Wir hatten hier mehrere Protestaktionen gegen AKWs, deswegen.

INT22 : Die Ursache für Tschernobyl weiß ich nicht. Aber in Fukushima zum Beispiel war der Grund ein Tsunami und Erdbeben, ne. Aber ich denke in Deutschland nicht so viele Tsunami und Erdbeben

E22 : Ja.

INT23 : **Aber wieso bist du gegen AKW?**

E23 : Ich denke einfach nur, der Grund, dagegen zu sein, ist für die Meisten, dass immer etwas passieren kann. Das muss nicht nur unbedingt eine Naturkatastrophe sein.

INT24 : Ok. **Aber, das heißt, der gesamte Strom muss aus erneuerbaren Energien kommen. Ist das möglich?**

E24 : Noch nicht. wir wissen nicht ob es wirklich möglich ist. Er wird, beziehungweise ist unser Strom jetzt schon teurer, weil wir schon langsam auf erneuerbare Energien umsteigen. Ja. ich weiß nicht, ob das möglich ist. Wahrscheinlich wird es schwer sein. Aber da wir seit damals immer schon die Hälfte unseres Stroms noch verkaufen an andere Länder in Europa, denke ich, dass es möglich ist. Das könnte für Europa und mindestens für Deutschland eine Lösung sein, sich halt auch mit erneuerbaren Energien zu versorgen.

INT25 : Ich habe einen Artikel gelesen. Da steht, dass jetzt in Deutschland die Strompreise ein bisschen höher werden.

E25 : Ja genau. genau aus diese Grund.

INT26 : Aber möchtest du lieber hohe Strompreise oder Atomkraftwerke?

E26 : Ja, ich glaube das ist genau das Gleiche wie bei allen Natursachen, man muss sich da entscheiden, ob man mehr bezahlen möchte für umweltfreundliche Sachen, oder ob man weniger bezahlen möchte und dafür aber nichts für die Umwelt macht.

INT27 : Und was denkst du persönlich? (...und für Dich?)

E27 : Ich find es ok, dass wir jetzt erneuerbare Energien nutzen. Es sei denn, sie (die Forscher) würden noch andere Möglichkeiten finden für noch mehr Energie, die nicht gefährlich ist, wo wir uns nicht darum fürchten müssen, dass irgendeine Katastrophe noch entstehen könnte.

INT28 : Ja alles klar. Und jetzt, normalerweise, **sprichst du mit deinen Freunden oder der Familie darüber?**

E28 : Als gerade die Energiewende war, hat jeder darüber gesprochen in der Familie, aber jetzt, ja, ein bisschen weniger.

INT29 : Der wichtigste Grund für deine Meinung ist die Gefahr?

E29 : Mögliche Gefahren, ja; die wirklich entstehen können, falls es zu einer Katastrophe kommt.

INT30 : Aber, hast du in der Schule darüber Etwas gelernt ?...

E30 : Nein.

INT31 : Achso, wirklich gar nicht?

E31 : ....Nein, hatten wir gar nicht.

INT32 : Aber zum Beispiel hat Ben.. Theresa mir gesagt sie haben darüber schon in der schule Etwas gelernt, aber an deinem Gymnasium nicht?

E32 : Nein. Ich habe auch so lange Chemie und andere Fächer weiter gemacht, sodass wir ... (vielleicht keine Zeit hatten); ... ich weiss nicht, vielleicht haben wir schon kurz über Strom gesprochen, in Physik, aber das ich jetzt wirklich gewusst hätte, wie ein Atomkraftwerk aufgebaut ist, woraus es besteht, wie es funktioniert, das wusste ich bis vor Kurzem nicht, das habe ich mir dann selbst angeeignet.

INT33 : Ak. Alles klar. Ok. Danke schön. Ich danke Ihnen sehr für Ihre Kooperation.

E33 : .....gern geschehen!